

## 世代交代期における学校事務研修のあり方の考察

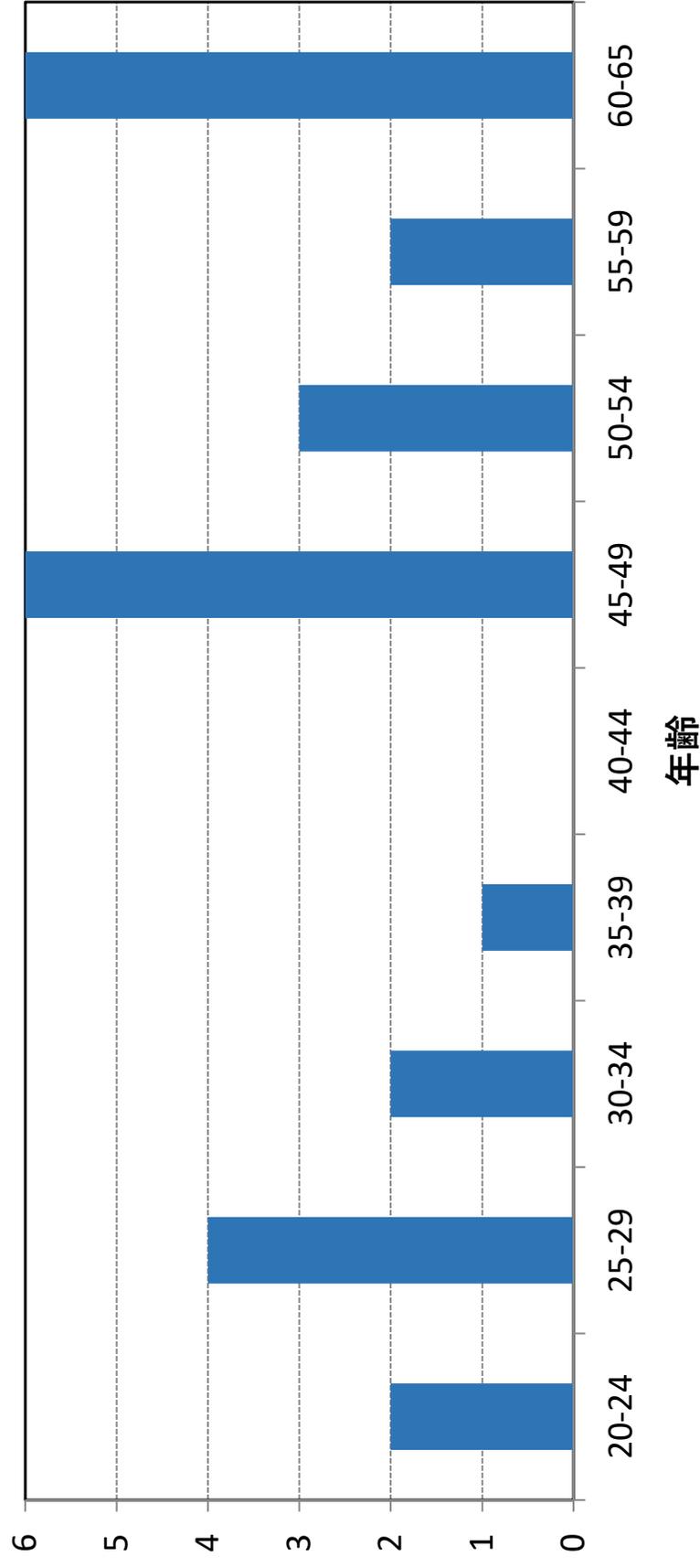
～一人一役，全員主役！旭事協第 2 グループ研修会「実践の軌跡」～

## 別冊資料

## 目次

	ページ
<b>01</b> 旭事協第 2 グループ年齢構成	1
<b>02</b> 旭川市公立小中学校学校事務職員協議会規約	2～5
<b>03</b> 旭川市立小中学校における学校事務の学校間連携に関する要綱・組織図	6～8
<b>04</b> 平成 30 年度 旭川市教育研究会学校行財政研究部総会議案	9
<b>05</b> 【旭事協研修部】2018 年度研修の具体的な進め方	10～12
<b>06</b> 旭事協第 2 グループ 研修会 まとめ	13～14
<b>07</b> 旭事協第 2 グループ 研修会 協議内容	15～17
<b>08</b> 研修会資料 研修実践「アイスブレイク」	18
<b>09</b> 研修会資料 P D C A サイクルとは	19
<b>10</b> 研修会資料 グループ研修会振り返りシート⑤	20
<b>11</b> 研修会資料 考えるための技法の活用	21
<b>12</b> 研修会資料 マズローの欲求 5 段階説を活用しよう	22
<b>13</b> 事前調査票 平成 29 年度 私費会計実態調査・教育環境調査	23～25
<b>14</b> 調査結果一覧表【一部抜粋】	26～31
<b>15</b> 平成 29 年度 P F シート【一部抜粋】	32～33
<b>16</b> グループ研修会①振り返りシート まとめ	34～36
<b>17</b> グループ研修会②振り返りシート まとめ	37～39
<b>18</b> グループ研修会③振り返りシート まとめ	40～43
<b>19</b> グループ研修会④振り返りシート まとめ	44～47
<b>20</b> グループ研修会⑤振り返りシート まとめ	48～50
<b>21</b> グループ研修会⑥振り返りシート まとめ	51～53
<b>22</b> グループ研修会⑦・今年度の研修活動振り返りシート まとめ	54～59
<b>23</b> 参考資料・参考文献	60

## 旭事協第2グループ年齢構成 (H31.3月末現在)



# 旭川市公立小中学校事務職員協議会 規約

## 第1章 総 則

- 第1条 (名称) 本会は、旭川市公立小中学校事務職員協議会（略称：旭事協）とする。
- 第2条 (本部所在地) 本会の本部を事務局長の勤務する学校所在地におく。
- 第3条 (目的) 本会は、会員相互の親睦を図り、研究活動を通じて学校事務の近代化・民主化を推進し、もって学校教育の振興に寄与するとともに、併せて社会的地位の向上を図ることを目的とする。
- また、本会は、北海道公立小中学校事務職員協議会の綱領を遂行する。
- 第4条 (事業) 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。
- (1) 職務の研究並びに能率の増進に関すること
  - (2) 会員の教養と親睦，社会的地位の向上に関すること
  - (3) 会員の連絡提携に関すること
  - (4) その他，会の目的達成に関すること

## 第2章 組 織

- 第5条 (構成) 本会は、旭川市公立小中学校に勤務する事務職員をもって構成し、基礎組織として第1、第2、第3、第4の4グループをおく。

## 第3章 機 関

- 第6条 本会に次の機関をおく。
- 総会，代議員会，役員会，監査委員会

### 第1節 総 会

- 第7条 総会は、全会員をもって構成され、本会の最高決議機関である。
- 2 総会は、年1回開く。但し、必要により臨時総会を開くことができる。
  - 3 総会は、会員の過半数の出席をもって成立し、議事は出席者の過半数をもって決める。
- 但し、賛否同数の場合は議長が決める。
- 第8条 総会は、次のことを決める。
- (1) 規約の決定，変更について
  - (2) 役員の決定，承認について
  - (3) 事業計画の承認について
  - (4) 予算・決算の報告承認について
  - (5) その他，本会の運営上必要な事項について

## 第2節 代議員会

第9条 代議員会は、総会に次ぐ決議機関で、会長がこれを招集する。  
2 代議員は、各グループ2名とし、選出は各グループで行う。

第10条 代議員会は、次のことを決める。  
(1) 総会より委任された事項  
(2) 運営方針および事業計画の具体案  
(3) 予算更正  
(4) 役員補欠選挙  
(5) 細則の決定および改定  
(6) その他、本会の目的達成に必要な事項

## 第3節 役員会

第11条 役員会は、本会の執行機関で、総会および代議員会の決議事項を執行する。  
2 役員会は、会長、副会長、事務局長、事務局次長、会計、理事で構成する。  
3 役員会は、業務遂行のため必要な部および委員会を設置することができる。  
4 前項の部及び委員会は役員会に付属し、委員は役員会で選任し、会長が委嘱する。

## 第4節 監査委員会

第12条 監査委員会は、本会の執行から独立し、業務および会計を監査する。  
2 監査委員会は、監査委員で構成する。  
3 監査委員会は、総会において本会の会計監査について報告しなければならない。

## 第4章 役員

第13条 本会に次の役員をおく。

会 長	1名
副 会 長	2名
事 務 局 長	1名
事務局次長	1名
会 計	1名
理 事	2名
監 査 委 員	2名

第14条 役員の仕事は、次のとおりとする。  
(1) 会長は会の業務を総理し、会を代表する。  
(2) 会長は必要と認める各部の部員の仕事を行う。  
(3) 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときは会長の業務を代行する。  
(4) 事務局長は事務局全般を掌理し、会全体の連絡調整にあたる。

- (5) 事務局長は本会の活動全般の記録を編集し、次年度に引き継ぐ。
- (6) 事務局次長は事務局長を補佐し、事務局の庶務的事項を整理する。
- (7) 会計は本会の会計業務を担当する。
- (8) 理事は各部を担当する。
- (9) 監査委員は本会の会計を監査する。

第 15 条 役員任期は総会までの 1 年とする。但し、再任は妨げない。

第 16 条 欠員補充に就任した者の任期は、前任者の残期間とする。

第 17 条 役員選出に関し、必要な事項は別に定める。

## 第 5 章 慶 弔

第 18 条 会員の慶弔に関し、必要な事項は別に定める。

## 第 6 章 会 計

第 19 条 本会は、一般会計をもって運営にあたる。

第 20 条 本会の経費は、会費およびその他の収入をもってあてる。

第 21 条 会費の総額および納入方法は、総会において決める。

第 22 条 本会の予算、決算は役員会で作成し、総会の決議もしくは承認を得る。

第 23 条 本会の会計年度は、4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までとする。

## 第 7 章 雑 則

第 24 条 この規約に基づく必要な細則は別に定めるものとする。

### 附 則

この規約は、昭和 49 年 11 月 1 日より実施する。

### 附 則

昭和 52 年 11 月 16 日一部改正

この規約は、昭和 52 年 11 月 16 日より実施する。

### 附 則

昭和 56 年 11 月 30 日一部改正

この規約は、昭和 56 年 11 月 30 日より実施する。

### 附 則

平成 2 年 10 月 30 日一部改正

この規約は、平成 2 年 10 月 30 日より実施する。

### 附 則

平成 4 年 7 月 7 日一部改正

この規約は、平成 4 年 11 月 1 日より実施する。

附 則

平成7年11月8日一部改正

※本規約改定に伴う特例について

- 1) 平成8年4月1日以降の新改正年度における総会は、今総会をもってあてる。
- 2) 役員の任期は、今総会より平成9年3月31日までとする。
- 3) 平成8年度の会計業務は、平成7年11月1日より平成9年3月31日までとする。
- 4) 第18条の会費値上げは、平成7年11月1日より実施する。

附 則

平成11年4月7日一部改正

この規約は、平成11年4月7日より実施する。

附 則

平成12年4月7日一部改正

この規約は、平成12年4月7日より実施する。

附 則

平成14年4月8日一部改正

この規約は、平成14年4月8日より実施する。

附 則

平成14年7月17日一部改正

この規約は、平成14年7月17日より実施する。

附 則

平成23年9月14日一部改正

この規約は、平成23年9月14日より実施する。

附 則

平成27年4月8日一部改正

この規約は、平成27年4月8日より実施する。

附 則

平成29年2月8日一部改正

この規約は、平成29年2月8日より実施する。

附 則

平成30年2月6日一部改正

この規約は、平成30年4月1日より実施する。

## 旭川市立小中学校における学校事務の学校間連携に関する要綱

(設置)

第1条 本市学校間連携事務の効率的かつ円滑な運営を図るため、旭川市学校間連携会議（以下「連携会議」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 連携会議は、次の各号に掲げる事項について審議し、課題の共有と解決のため意見及び情報を交換する。

- (1) 教育環境に関すること。
- (2) 教育関係情報に関すること。
- (3) 学校事務に関すること。
- (4) 学校課題の調査・研究に関すること。
- (5) その他学校間連携会議が必要と認めたこと。

(構成)

第3条 連携会議は、旭川市立小中学校事務職員（以下「事務職員」という。）で構成する。

- 2 連携会議に代表及び副代表を置く。
- 3 代表及び副代表は、関係機関の意見等を参考に教育長が指名する。
- 4 代表は、連携会議の総括及び調整を行うものとする。
- 5 副代表は、代表を補佐し、代表に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。
- 6 代表、副代表ともに事故があるとき、又は欠けたときは、あらかじめ代表の指名するものが、その職務を代理する。
- 7 前条に掲げる事項について、事務職員の活発、かつ真摯な発言を保障するため、連携会議を別表のとおり、4ブロック及び構成校に分割し、それぞれブロック代表を置く。
- 8 ブロック代表は、事務職員の互選とする。
- 9 前条に掲げる事項を推進するため、各号に掲げる会議を設置する。
  - (1) 全体会議
  - (2) ブロック会議
  - (3) ブロック代表会議
  - (4) 加配校連絡会議
  - (5) 加配事務職員連携会議
  - (6) 代表・副代表会議

(会議の招集等)

第4条 会議は、教育長が招集する。

- 2 教育長が必要があると認めたときは、会議に関係者の出席を求めることができる。

(活動計画書)

第5条 代表は、年度当初に活動計画書を作成し、教育長に届け出るものとする。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、会議に必要な事項は教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成21年8月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

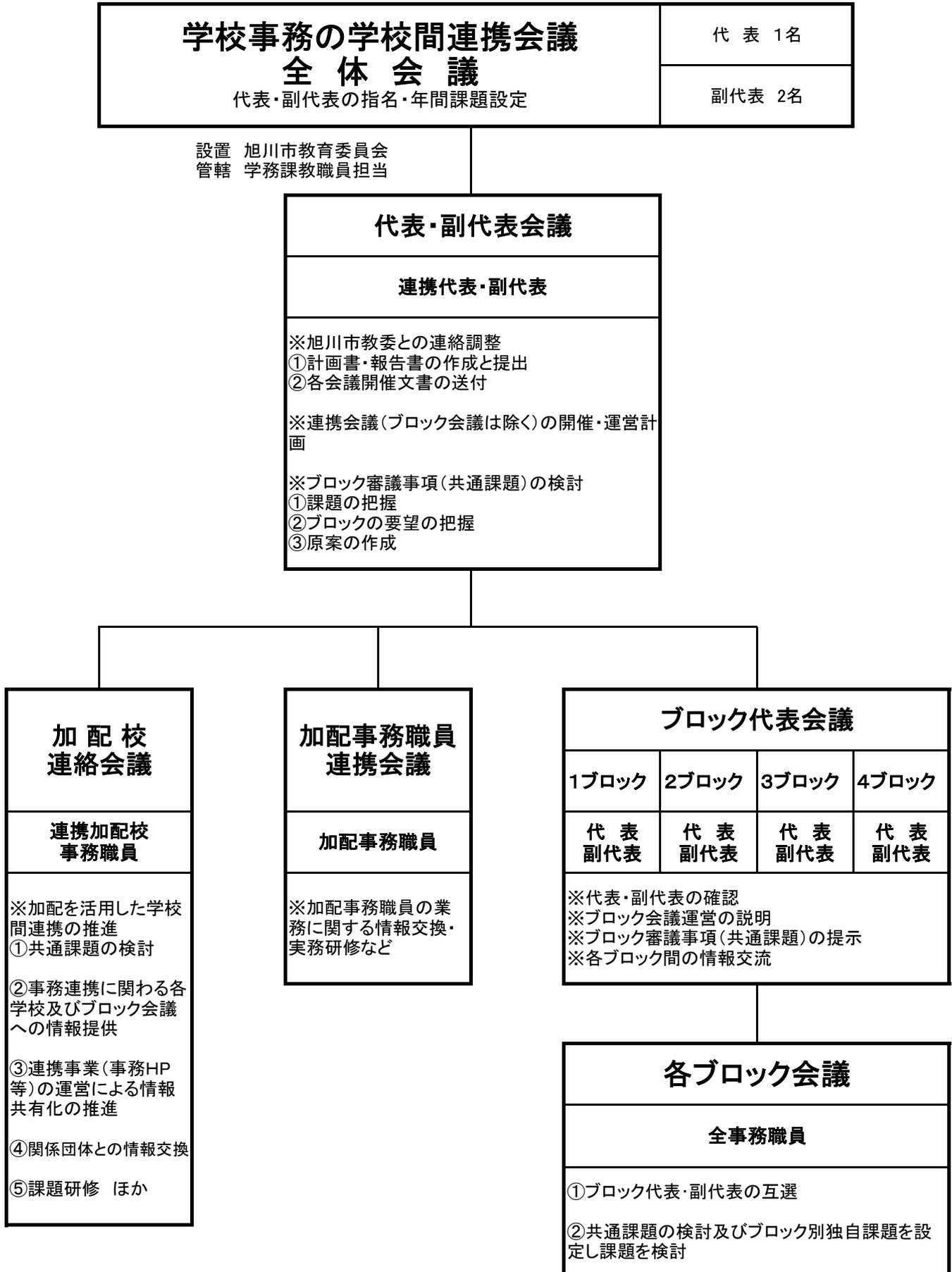
附 則

この要綱は、平成30年4月1日から施行する。

別 表

ブロック	構 成 校
第一	雨 紛 小, 神 居 小, 神 居 中, 神居東小, 神居東中, 台 場 小 忠 和 小, 富 沢 小, 忠 和 中
ブロック	神楽岡小, 神 楽 小, 神 楽 中, 千代ヶ岡小, 西神楽小 西神楽中, 西御池小, 緑が丘小, 緑が丘中, 緑 新 小
第二	大 町 小, 北 門 中, 向 陵 小, 春光台中, 大 有 小, 高 台 小 近 文 小, 北 光 小, 北 星 中, 嵐山小中, 江丹別中
ブロック	啓 北 中, 広 陵 中, 春 光 小, 末 広 小, 末広北小, 近文第一小 近文第二小, 東鷹栖中, 北 鎮 小, 陵 雲 小, 六 合 中
第三	朝 日 小, 光 陽 中, 新 町 小, 知 新 小, 中 央 中, 豊 岡 小, 日 章 小, 東 町 小, 青 雲 小
ブロック	新 富 小, 正 和 小, 永 山 小, 永 山 中, 永山西小, 永山東小 永山南小, 永山南中, 東五条小, 明 星 中
第四	旭 川 小, 旭川第一小, 旭川第五小・桜岡中, 旭 川 中, 愛 宕 小 愛宕東小, 愛 宕 中
ブロック	旭川第二小, 旭川第三小, 旭川第二中, 共 栄 小, 啓 明 小, 千代田小 東 栄 小, 東 光 小, 東 光 中, 東 明 中, 東 陽 中

# 連携会議組織図 (H30年度)



# 平成30年度 旭川市教育研究会学校行財政研究部総会

平成30年4月10日  
上川教育研修センター

## 1 開会

## 2 部長挨拶

## 3 報告事項

### I 研究主題

「新しい時代を拓く、創意ある学校事務の実践に取り組もう」

### II 事業報告

#### ①29年度の方針

- (1) 地域連携・全市連携の活動を通しての「学校間連携」と協力協働による実践を進める。
- (2) 学校事務職員としての資質の向上と学校事務職員の職務確立に努める。
- (3) 全体研修を通して、学校事務の研修を深め日常の実践を軸に研修の充実に努める。

#### ②研修の重点目標について

事務職員同士の絆を深め、研修活動を通して、より互いの事務実践力を高めよう。

#### ③事業報告

4月 学校行財政部総会

行財政部役員名簿及び研究主題提出

旭教研総会・研究推進会議

5月 学校間連携事業の協力により学校概要を「学校事務情報」HPに掲載

市教委主催学校事務担当者会議

運営委員・研究部長合同研究推進会議

7月 第1回学校事務研修会

8月 夏季研修会（新採用 東川小学校視察）

研究部長研究推進会議

10月 旭川市教育研究大会（学校行財政研究部）兼旭川市公立小中学校事務研究大会

11月 第1回会誌編集委員・執筆者合同会議

1月 第2回会誌編集委員・執筆者合同会議

運営委員・研究部長合同研究推進会議

2月 第2回学校事務研修会

3月 会計監査

## 4 平成30年度活動方針

### ①研究主題

「新しい時代を拓く、創意ある学校事務の実践に取り組もう」

### ②事業計画

新採用事務職員及び事務職員不在校に向けた実務研修

グループ研修の充実化（少人数グループによる日常実践の交流）

10月16日（火）旭川市小中学校教育研究大会学校行財政分科会

### ③重点目標

事務職員同士の絆を深め、研修活動を通して、より互いの事務実践力を高めよう。

## 5 役員改選

平成29年度

部長 一ノ関宏和（大町小）

副部長 紙谷 里恵（新富小）

副部長（運営委員）松田 章（旭川小）

平成30年度

部長

副部長

副部長（運営委員）

## 6 閉会

## 1 研修を進めるにあたり

学校事務職員を取り巻く状況は、非常に厳しい現状であることが会員の皆様にもご理解されていることと思います。学校現場では、学校の事務・業務の効率化がより求められて来ています。また、学校事務職員には、学校経営のスタッフとして、他職種との協力協働、地域・保護者、子ども達との関わりを通して、主体的・積極的に「学校づくり」に参画することも求められています。

旭川市では、学校諸課題を解決するため、さまざまな角度からの論議や具体的な実践が展開されてきました。事務職員が連携し、情報を共有化しながら具体的に課題を解決することの積み重ねが、学校にいてはならない存在として、内外に理解を得るとともに、学校事務職員の職務確立に繋がっていくものと考えています。その為にも日常実践の積み重ねが大切であり、学校課題を解決することを意識した研修の場としての「グループ研修」が更に重要なものとなってきます。

今年度は新採用 3名、転入者 1名の新会員を迎えました。全市連携を進めている私たちは「学校間連携」による連携実践を推進し、学校事務職員としての資質の向上のためにも、「学校間連携会議」との連携をはかりながら「グループ研修」を進めていくことが必要です。

具体的には、グループ研修を推進するため、旭事協の運営テーマに則り研修部推進の「全体研修テーマ」を提案します。

## 2 グループ研修について

各グループは、

- 「(1) 全体研修テーマ」をもとに、
- 「(2) グループテーマ」を設定し研修を推進します。
- 「(3) グループ実務研修」を計画的に実施します。

### (1) 全体研修テーマ

『旭川市の学校財政財務活動の現状と課題』

### (2) グループテーマ（グループ研修をすすめるためのテーマを各グループで設定）

\*グループテーマ設定のための例

#### ①保護者負担軽減のとりくみ

- ・全道協議会職務検討委員会で作成した「PFシート」にとりくみ、自校の実態把握につとめる。
- ・解消できる部分について、私費・公費会計だけではなく、幅広い観点から考える。

#### ②子どもたちの「生活の場」である、教育環境の整備・改善のとりくみ

- ・施設設備の安全性確保のとりくみ（体育館の床のシーリングなど）
- ・通知・通達・マニュアル等を基にした教育環境整備  
（シックスクール対策・安全対策等）のとりくみ
- ・教室の温度・湿度に注目し、自校の実態把握につとめる。
- ・グループ内での交流を図り、扇風機や網戸・加湿器の設置状況についてまとめる。

#### ③子どもたちの学習を保障する予算の確保のとりくみ

- ・学校内での要望調査をおこなう。

- ①、②のとおりくみや要望調査の結果をふまえて学校課題を把握し、「仮想予算要望書」を作成する。
- 「仮想予算要望書」を交流し各学校の共通課題については、協議会または学校間携会議で検討し、市教委へ要望する。

### (3) グループ実務研修

- ① 日常の実践交流と実務研修等を計画的にお願いします。  
事務実践の中での“特殊な事例の処理（対処）方法”や、他職種との協力協働を含めた“私（私たち）の事務実践”の紹介等をグループ実務研修としてすすめてください。
- ② 旭川市における教育情報の共有化の観点から、各グループ内での交流に止まらず、「学校事務情報HP」への掲示、並びに旭事協研究大会や全体研修会で交流報告をしていただく場を設定したいと考えています。

### (4) グループ研修の計画と発表報告

- 第1回目のグループ研修会終了後、できるだけ早急に「2018（H30）年度グループ研修計画書」（表1）で報告をお願いします。  
旭事協事務研究大会や学校事務研修会で、グループ研修の発表・報告を行っていただき、会員全体で交流する場を設定します。

### (5) グループ活動費について

- 各グループの予算額は、25,000円です。  
執行期間は、本日より2月までです。  
支出等についてのお問い合わせは、旭事協会計 正和小学校・三浦さんをお願いします。

### (6) 2018（H30）年度グループ編成 別紙のとおりです。

## 3 全道事務研について

### (1) 旭川市からの研究発表について

- ① 旭事協の研修活動の活発化と全道の学校事務実践の交流を図るため、以下の通りに研究発表を行います。（2017年4月27日、第1回代議員会にて決定）
  - 2017年度（H29）胆振大会 ～ 第3グループ
  - 2018年度（H30）函館大会 ～ 第1グループ
  - 2019年度（H31）上川大会（ライフオート札幌）～ 第2グループ
  - 2020年度（H32）小樽大会（ // ）～ 第4グループ
  - 2021年度（H33）留萌大会（ // ）～ 第3グループ
  - 2022年度（H34）檜山大会（ライフオート札幌）～ 第1グループ
  - 2023年度（H35）空知大会 ～ 第2グループ
  - 2024年度（H36）十勝大会 ～ 第4グループ
- ② 個人レポートの発表については、「全道協議会の個人レポート要請の主旨と考え方」（2016.2.10 旭事協臨時総会）をもとに支部推薦をおこないます。

### (2) 第68回 全道事務研への参加について

- 9月14日（木）～15日（金）、函館市で開催されます。積極的な参加をお願いします。

#### 4 研究大会・全体研修について

##### (1) 旭川市公立小中学校事務研究大会

期 日～10月16日(火) (旭教研研究大会開催日)

日 程～1日日程

内 容～未定

##### (2) 学校事務研修会

期 日～第1回…1学期中(7月中旬予定) , 第2回…3学期中(2月中旬予定)

日 程～半日日程(午前開催を計画)

内 容～未定

第1回…実務研修等

第2回…実務研修, 旭事協特別委員会報告, 各グループ研究報告, 等

##### (3) 転入・新採用事務職員への研修

###### ①転入・採用事務職員研修会(終了)

・期 日 2018年4月13日(金) 13:30～16:30

・会 場 永山小学校

・講 師 旭事協役員

・内 容 財務事務(市費経理), 市費学校職員, 通信機器を利用した文書, 他

##### (4) 監査対象研修会

内 容～監査対象校への支援

※対象校が判明後, 所属グループにて対応をお願いします。

##### (5) 各派遣研究会, 視察及び全道事務研分科会報告の依頼

※研究大会及び全体研修会は, 旭川市教育研究会学校行財政部会との共催を検討します。

#### 5 研修部構成について

※部 長 一ノ関 宏 和(大町小)

※部 員 天 野 修(青雲小)

谷 口 才 和(緑が丘中)

古小高 千 紘(啓北中)

(旭教研学校行財政部)

紙 谷 里 恵(新富小)

大 森 由 隆(緑新小)

小 川 真 広(東光中)

# 旭川市公立小中学校事務職員協議会 第2グループ 研修会まとめ

平成31年2月1日

## グループテーマ（研修部提案より選択）

### ①保護者負担軽減の取り組み

- ・全道協議会職務検討委員会で作成した「PFシート」に取り組み、自校の実態把握につとめる。
- ・解消できる部分について、私費・公費会計だけではなく、幅広い観点から考える。

### ②子どもたちの「生活の場」である、教育環境の整備・改善の取り組み

- ・施設設備の安全性確保の取り組み（体育館の床のシーリングなど）
- ・通知・通達・マニュアル等を基にした教育環境整備（シックスクール・安全対策等）の取り組み
- ・教室の温度・湿度に注目し、自校の実態把握につとめる。
- ・グループ内での交流を図り、扇風機や網戸・加湿器の設置状況についてまとめる。

## 研修会日程

第1回	5月22日（火）	14：00～	上川教育研修センター
第2回	7月3日（火）	14：00～	啓北中学校
第3回	8月24日（金）	14：00～	東鷹栖中学校
第4回	10月10日（水）	15：00～	上川教育研修センター
第5回	11月16日（金）	14：30～	近文小学校
第6回	12月12日（金）	14：00～	上川教育研修センター
第7回	1月18日（金）	14：30～	上川教育研修センター

## 研修の具体的な課題または方向性

- ・全道協議会職務検討委員会で作成した「PFシート」に取り組み、自校の実態把握につとめる。
- ・施設や教育環境について調査を中心に現状の把握と課題の発見、解決につとめる。

## 第1回研修会

- (1) アイスブレイク
- (2) 研修計画の作成
- (3) グループテーマの決定と研修の進め方（調査の工夫）
- (4) 第6回9回全道事務研提言レポートの方向性について
- (5) 実務交流

## 第2回研修会

- (1) アイスブレイク、前回の振り返り【PDCAサイクル】
- (2) 研修
  - ・保護者負担軽減に向けて調査①の考察、課題発見
  - ・グループ討議（4人1組）【考えるための技法の活用】
- (3) 実務交流

### 第3回研修会

- (1) 前回の振り返り【マズローの5段階欲求説】
- (2) 研修
  - ・保護者負担軽減に向けて調査②の考察，課題発見
  - ・小中勤務校別分科会
- (3) 実務交流

### 第4回研修会

- (1) 前回のまとめ・振り返り
- (2) 研修
  - ・全道事務研環流報告・交流
- (3) 研修（全体協議）
  - ・PFシートその他・加湿器編の考察・交流・課題検討
- (4) レポートについて

### 第5回研修会

- (1) 前回のまとめ・振り返り
  - ・【課題】タイムマネジメント
- (2) 研修
  - ・PFシート各校の考察
- (3) レポートについて
  - ・レポートで伝えたい柱

### 第6回研修会

- (1) 前回のまとめ・振り返り
  - ・【課題】タイムマネジメント
- (2) 研修
  - ・全道事務研問題提起レポートについて
  - ・段落構成の工夫
  - ・世代交代？世代継承？
  - ・読みやすい文章を
  - ・レポートの柱はどこか？
- (3) 実務研修
  - ・『学校関係法令集って？』嵐山小中 高買さん（資料提供・説明）

### 第7回研修会

- (1) 前回のまとめ・振り返り
- (2) 研修①
  - ・今年度の活動のまとめ，次年度に向けて
- (3) 研修②
  - ・全道事務研提言レポート
- (4) 実務研修
  - ・『扶養手当の認定について』六合中 櫻井さん（資料提供・説明）

## 第2回研修会 協議内容【グループ討議】

### ○網戸・扇風機

- ・多くの学校に扇風機有り
- ・扇風機で8割、網戸5割程度の整備
- ・普通教室では必須？
- ・普通教室＞扇風機の学校対応は？
- ・新しい学校は整備されている？学校差がある
- ・扇風機のない学校の教員、生徒の反応は？
- ・整備の基準は？
- ・整備する前に湿度や温度を調査すべきか
- ・異常気象が扇風機が増えた要因？
- ・市内で統一できないか
- ・西日が入る教室、涼しく不必要な場合など多様
- ・整備する方向性を共通理解する必要がある
- ・エアコンはどうか？
- ・事務職員だけでなく学校全体の取り組みにむかうべき

### ○補助教材

- ・学校間の格差がある
- ・より詳細な調査がほしい
- ・どんなワークか？教科による偏りはあるか？
- ・学力などを考慮すると単純負担軽減にならない

### ○テスト

- ・小学校 CRT は680円
- ・学校によるテスト回数之差
- ・二極化している
- ・小の差が大きく、中は少ない？
- ・学力とテスト代の相関はあるか？
- ・教員との連携が不可欠
- ・年度ごとに差ができると保護者の不信感がでる？
- ・統一する、軽減すると言い切れる問題ではない
- ・高学年は高め
- ・公費でまかなっている学校、金額はどれほどか
- ・受益者負担

## 第3回研修会 協議内容【小中別分科会】

★小学校 進行：大有小西木、記録まとめ：春光小佐々木

★中学校 進行：啓北中古小高

記録まとめ：広陵中吉光、六合中佐藤

### 小学校 参加者10名

◎ICT活用編資料を見て

○大型テレビ（大型 → 普通のテレビではない）

- ・[近文小] 8台入った
  - ・[嵐山小] 要望してなくても入った⇒テレビは入りやすい
  - ・[大有小] 2台備品要望で配当され、学務課で発注のところ大有小でも発注しまい結果4台入ることになりそう
  - ・児童数の割に足りないところ、余っている学校もある
  - ・今はほぼデジタルテレビ（アナログテレビの学校もある）
- ⇒放送はアナログ放送の学校が多い

○タブレットPC

- ・[末広北小] 多い ⇒パソコン室のパソコンがタブレット
  - ・[春光小] Windows タブレットが整備されているが、先生方にあまり使われていなく、iPad を使いたいと要望が出ている⇒教材備品で要望できる
  - ・パソコン更新の時、学校の要望を聞かずにパソコン類が入ってくる（いらぬカラープリンターが来た、オフィスが入っていない）
  - ・Windows タブレットと iPad どちらが使いやすい？
- ⇒iPadの方が教育用のアプリが多く私物 iPad 使用先生有り

○無線LAN

- ・[近文小] 無線LANとiPadをセットに置いている
- ・外国語活動のためにも必要になってくる
- ・繋がりにくい、不都合も多い

◎PFシート資料を見て・・・

○見学・修学旅行

- ・修学旅行→札幌・小樽が多い、1学期2学期どちらもあり
- ・宿泊研修→深川・大雪青年の家2パターン、ほぼ2学期

○交通費

- ・ミュージカル鑑賞 →バス増便してくれない（ドライバー不足）してくれたところもあるが・・・
- ・スキー→[近文小] 1年生も2回ある、バスの手配が難しい（比布はバス1台出してくれるらしい）

○給食費

- ・就学援助の取扱いについて 認定になるまで給食費の徴収はどうしてる？
- 認定とみなしてもらわない・認定までもらう どちらもあるが、今でも認定にならず保留の家庭がある…
- ⇒委員会の対応良くない（申請書不備の家庭へ手紙を送って終わり）

○旭川市の予算

- ・学校予算が足りない、運営できない
  - ・プリンターインク代がかかりすぎているにも関わらず、プリントフリーを提案したら教頭の許可が下りなかった
- ⇒管理職も協力してくれないと事務職員だけでは難しい

○小学校と中学校の違い

- ・来客が多いのは？
- 中学校は進路関係、小学校は忘れもの届けも多い

○保護者負担軽減

- ・学年費は減らせよう
- 他市町村では、市町村で出してくれるから集めていない学校もある
- ・PFシート以外にも学年費自体の調査もあるといいかも
  - ・画用紙とか学校で買えるものは買いますよと声掛けするのも大事
  - ・給食費も市で出してくれれば…
  - ・夏休み冬休みの宿題ドリルを購入しないで、自作プリントを印刷していたが、大量になるので大変でやめた学校もある

〈働き方改革〉⇔ 〈保護者負担軽減〉 難しい

## 中学校グループ 参加者7名

◎資料を見て話し合ったこと

### ○ICT 活用

・無線LANの整備方法で、緑が丘中は強力な親機を備品として購入し、それを無線が学校中に届くベストな場所に置いて無線LAN環境を作ったとのこと

### ○観劇鑑賞

・今は札幌コンサートくらい昔は映画館にも行った

### ○宿泊研修・修学旅行

・北星中の修学旅行はH29に道内、H30に道外(青森)に行ったが、旅行代は何故かH30の方が1万円安くなった

・六合中の修学旅行はH30に道外(岩手盛岡)に行ったが、旅行代が65,000円と高額になり、引率旅費規定の上限を超え1,000円は教員の自己負担になった!

・旅行者選定に事務が係わっていない内容ありき事務職員が係わってはいけないという雰囲気があるかも・また、お小遣いや昼食、夕食は自己負担の学校もあるので、保護者の負担は結構なものだと感じた

・業者選定や内容は事務が見えないところで進んでいってしまう教職員に支給できる金額を超えてしまう職員には伝えているとのこと

### ○交通費

・スキーバス代は2,600円~3,400円

・札幌コンサートへの交通手段は、貸切バス、路線バス、自転車など各校で違うことがわかった貸切バスで600円ほど広陵中、啓北中は自転車や公共交通機関を利用して移動  
・歩くスキーを自校で行う学校もあり交通費なし

### ○保健→特になし(逆に保護者負担があってはならない)

### ○給食費

・各校年間10回の集金で給食費を集めている

・新1年生の振替口座の登録方法が2種類あった自動引き落とし申込書を学校で集約し銀行へ持って行く学校と、保護者各自で申込書を銀行に提出してもらう学校がある

・銀行ごとにサービス金額など違いがある例えば旭川信金は保護者から集めたお金を各会計口座に振り分けてくれるが、郵貯はしてくれないなどただし引き落とし手数料は郵貯が圧倒的に安い(手数料はゆうちょ10円、信金103円、JAたいせつ54円)

### ○スポーツ振興センター掛金→特になし

### ○視聴覚・図書費→特になし

### ○クラブ・部活動費

・後援会費の残額が無くなってしまったら?→寄付を募るか、他の会計から移管してもらう

・何校かは運動部と文化部で入部金に差をつけている運動部と文化部で入部金の金額に差をつけろという話になった理由は実際に使うお金が運動部と文化部であまりにも差があるため

・六合中、吹奏楽費というものがあり、すべての戸数から徴収(主に楽器の修理代)

### ○その他

・学年費で分散会でのお菓子等の購入しているお菓子の部分を軽減してみてはどうか?

## 第4回研修会 協議内容

### ○全道事務研環流報告

#### 第4分科会に参加して(啓北中 古小高) レジュメ

・研修内容について、参加しない人にスポットを当てないで、参加者の満足度を上げることで→「参加したい」という思いに変える(忠和小野島)がおもしろかった

・学校間連携や保護負担軽減等、旭川市みんなで取り組もうという時に不参加者にはかまわない!とはならない参加しない人へのアプローチも大切(嵐山小中 大谷)

・旭川支部や渡島支部の研修活動に関するレポート・提起をみて第2グループですでに実践されていることも多く自分たちの研修活動に自信をもてるし、来年度の問題提起にも期待できる

・分科会1日目・2日目で内容及び雰囲気も大きく変わり、参加者の姿勢や司会の進行の良さを感じた(2日目)

・教職員の諸手当事務について→職印を要するもの、条例に基づくものについては、公費の郵券を使用してもかまわないのではないかと

・全道事務研会場に設置された学協ブースの防災カタログから、SONY手回し充電ラジオに関心ある

・手回し充電ラジオ購入(大町小一ノ関)次回研修時、都合が良ければレビューをお願いします

・カセットコンロのストーブが売れている1本2時間ほど使用できる

・賞味期限が5年ほど過ぎたアルファ米を食べてみたが全然問題なく食べることができた

・防災への意識が高いうちに(残予算との兼ね合いもあるが)購入等できたらいいかもしれない

#### 第5分科会に参加して(近文第一小 高橋) 大会要項

・法改正の部分を管理職はじめ事務職員以外がどのようにとらえているのか

・「つかさどる」をこれからどうしていこうか、を考えていかなければならない

・ミッション加配等事業が学校力向上、学校事務の強化、教員の負担軽減といった多様な課題によって目的が見失われているように感じる

・事務職員の加配より教員の加配の方が予算がかかることも関係しているのでは

・学校事務を「枠にとられない仕事」として何をしていくのか(『学校事務』木村編集長談)

・キーワード「反省的実践家」

・スクールサポートスタッフについて(北門中、近文小、大有小...)→実施要項等資料等お持ちの方、事業について詳細がわかる方いましたら次回の研修などで教えてください

#### H30 給与勧告等の概要について(近文第一小 高橋)

### グループテーマ【全体協議】

#### ○加湿器設置状況

・気化式、加熱式で一長一短(カビ等抗菌対策、蒸気によるやけど等)

・気化式はクエン酸等でのまめな手入れが必要

- ・向陵小，緑が丘中はあるが，現在は使用していない
- ・北光小，ボイラーで湿度を校内一括管理，教室の向き等で全然湿度が違うので不便な面もある
- ・加湿器の有無でインフルエンザ等の予防ができるかどうかエビデンスがない
- ・加湿器の設置が中学校の受験対策などではなさそう
- ・加湿器に限らず，年度末反省等で備品要望があった場合は，備品購入につなげることができる
- ・六合中はここ数年で配備

#### ○生徒会費

- ・中学校で600円～1,500円の間
- ・東鷹栖中は校内監査を利用して1,600円から1,200円へ減額，月割りで返金もできるようになった

#### ○生徒手帳

- ・六合中はH29まで520円で購入もH30より購入せず

#### ○卒業記念品等

- ・近文小，PTA会費の内訳で毎年周年行事積立300円
- ・同窓会費，卒業アルバムについては大差なし

#### ○学級費

- ・大有小，補助教材費の差額調整のために80円～300円徴収（学級費ではないが）
- ・啓北中，ドラッグストアでの市販薬の購入，修学旅行等でのレク景品，学級分散会お菓子
- ・北星中，2学年で食育学習のため多めの徴収郵券
- ・東鷹栖中，飲み物代

#### ○その他（制服，名札）

- ・広陵中，進路業務委託費700円
- ・名札は公費，私費各学校による小学校は名札を付けるのは学内だけ
- ・嵐山小中は児童・生徒が少ないので名札不要

### 第5回研修会 協議内容【全体協議】

#### PF シートの交流，考察

##### 大町小学校

- ・テスト，PTA会費で徴収金を見直すチャンスがあるかもしれない

##### 向陵小学校

- ・新入学用品を詳しくみていたらどうか

##### 春光小学校

- ・修学旅行で同じ宿泊日，宿泊場所で料金に差があるのか

##### 末広小学校

- ・夏休み・冬休み帳の購入を始めた

##### 末広北小学校

- ・今まで増刷りしていた夏休み・冬休み帳の購入を始めた

##### 大有小学校

- ・新入学用品の金額が多いので今後詳しく見てみたい

##### 高台小学校

##### 近文小学校

- ・公費私費総額比較はあまり意味ないのでは？学級数や生徒数が異なって一概に判断できない

##### 近文第一小学校

- ・学校によって通信が白黒だったり，カラーだったりして

単純な金額では判断が難しい

##### 嵐山小学校

- ・テストや補助教材など項目をより細かく検討してみても？
- ・PFシートの項目そのものの共通理解を図らないと入力に差が出る

##### 啓北中学校

- ・学級費の執行内容が学年学級で差がある今後検討の余地あり

##### 広陵中学校

- ・スキーのバス代，リフト代を詳しく検討したい
- ・進路費の徴収に在り方を検討したい

##### 六合中学校

- ・PTAから支出している祝い餅について
- ・生徒会費は赤字になって状態が見えた公費化のきっかけになりうるかも

### 第6回研修会 全道事務研レポート検討のみ

### 第7回研修会 協議内容【活動のまとめ・次年度に向けて】

- ・今年度の活動をいかに掘り下げるか？
- ・今年度は実態把握が中心だったが，次年度は保護者負担軽減の取り組み実践などを交流していくのも1つの手法（徴収方法や督促の仕方，減額の取り組み，同一規模校での比較，公費の節約（在庫の在り方））
- ・保護者負担軽減という1つの方向性は全員で共有した上で実際の取り組みは各校の実態に応じて進めるところから行っていくのはどうか？
- ・保護者負担軽減は見えやすい金銭負担軽減だけでなく，教育負担軽減や心理負担軽減という視点も持つことで考えることができるのでは？
- ・研修の進め方として検討項目や校種，学校規模に分けてのグループ活動という手法も考えられる。
- ・環境整備の取り組みも同様に取り組めるし，続けていくべき。
- ・研修での取り組みを学校に持ち帰り，職員会議や新年度計画に活用し，また研修へ環流してほしい。
- ・限られた時間で様々な課題に向かうために分かれての活動も1つの手立て
- ・次年度1回目のグループ研修会で自校での保護者負担軽減への取り組みを交流する。

# 研修実践「アイスブレイク」

～連携から連携へ！効果的な研修のための手立てとして～

平成30年5月22日

東鷹栖中学校 木村 達也

## 1 「アイスブレイク」とは

社会教育の現場等において、研修や事業のはじめに行われるアクティビティのこと。「アイスブレイク」とは、氷を砕くとう意味で、参加者の緊張した堅い雰囲気をはぐすために行われます。

## 2 実践してみましょう

(1) おしゃべり禁止！誕生日順に並ぼう！

- ・会話することなく、誕生日順に時計回りで並びます。
- ・ジェスチャーを活用してコミュニケーションします。

副次的効果：コミュニケーションの大切さを実感できます。

(2) おしゃべり OK！少し見栄を張っちゃおう！

- ・会話をしながら、年齢順に時計回りで並びます。
- ・男性は自分の年齢に3歳加算して、女性は自分の年齢を4歳年齢へらして話します。
- ・相手の本当の年齢を頭の中で計算しながら並びます。

副次的効果：コミュニケーションを円滑に進めるために上手な説明が大事ということが学べます。

**「連携」**は、互いに連絡をとり、協力して物事を行うこと

例) 連携を強化する、連携アプリ、県と市の連携

**「関係」**は、他と密接な関連をもつこと、切れ目なく続くこと

例) 関係プレー、関係編集プログラム、本社と支店との関係

連携の「連」は連絡、「携」は手を携えること。関係の「連」はつらなること、「係」は関係する、つながることと。

### 参考資料

松村純子 教育つれづれ日誌「アイスブレイク」を活用してみませんか… (HP 内田洋行教育研究所 2010/4/27)

<https://www.manabinoba.com/tsurezure/12006.html>

硬～い雰囲気の会議の前に…絶対盛り上がるアイスブレイク集7連発！<https://mynavi-agent.jp/dainishinsotsu/canvas/2016/11/7.html>

# PDCA サイクルとは

平成 30 年 7 月 3 日 東鷹栖中学校 木村 達也

「計画 (Plan)」「実行 (Do)」「検証 (Check)」「改善 (Action)」のサイクルは、その頭文字をとって PDCA サイクルと呼ばれ、生産管理や品質管理等々の現場だけでなく企業経営・学校教育といった多様な現場の業務を円滑に進める手法として幅広く浸透している。

PDCA サイクルという概念が生まれたのは、戦後、品質管理手法等の構築にあったデミングらによって提唱された概念である。特徴として常にサイクルを回し続けること。PDCA の A で終わりにするのではなく、最後の A を新たな出発点として PDCA を繰り返すことで、永続的に改善活動が続けることにある。

参考文献:仕事は早くなる! Cからはじめる PDCA 日本能率協会マネジメントセンター編

## 計画 (Plan) のポイント

- ・具体的にどのような行動が必要か明確で何を達成できればいいのかイメージできるようにすること
- ・主体的に実践できるもの
- ・問題が抽出されていること(気になる, おかしい, なんとかしなければ, こうあってほしい, こうしたい)
- ・成功事例, 失敗事例を活用すること
- ・できる人, 良い計画(資料)を活用すること(学ぶは真似るから)
- ・5W3H を具体化すること
- ・修正を前提とした計画であること
- ・計画は共有してはじめて計画になること

## 実行 (Do) のポイント

- ・実行力の差は改善意識の有無と強弱
- ・実行するための準備力(段取り)  
「準備 8 割, 実行 2 割」
- ・追い込まれてからやるのではなく迅速に進め質を向上させる姿勢(先延ばしの壁)
- ・仕事の処理にどの程度の時間がかかるのかを客観的に想定すること(余裕確保の壁)
- ・「緊急度」「重要度」にそって優先順位を決めできるものから片づける(同時進行の壁)
- ・必要時間の想定 = 標準時間 × 難易度 × やり直しの可能性
- ・実行途中で PDCA サイクルを回すこと
- ・実行経過を共有すること

## 改善 (Action) のポイント

- ・目標の妥当性, 方法や手段が有効かどうか
- ・検証するための 3 つの目【鳥の目(全体観), 虫の目(項目観), 魚の目(物事の流れ, 時間)】
- ・失敗のみならず成功の検証もすること
- ・「現状維持」ではなく「改善・進化」を目指すこと
- ・過去の成功や経験, 長年培われた習慣に依存しすぎないこと
- ・実行の中身を精査すること
- ・検証すべき対象(目標との差, 手法, 手段, 固定観念や思い込み(理念・伝統・マニュアル))
- ・検証を可視化して共有すること

## 検証 (Check) のポイント

- ・改善は PDCA サイクルを回す目的そのもの
- ・過去を振り返り課題を抽出し, 新たな改善策を考えること
- ・目的達成のために手段や方法を変更すること
- ・できることからスタートすること
- ・小さなところから変える, 当たり前のことを当たり前にする
- ・感情, 時間, チームのムリ・ムダ・ムラを排除すること
- ・合理的・効率的な手段や方法を選択するために, 知恵を絞り出す行為であること。
- ・できない理由をあげているかぎり, 改善できないこと
- ・「たら・れば」を「には」に変換する。(お金があればできる→安くあげるにはどうするか)
- ・問題意識の共有と改善点の特定

## グループ研修会振り返りシート⑤

～研修と研修をつなぐ PDCA サイクル確立のために～

研修会：平成30年11月16日

提出〆切：平成30年11月30日

学校名：\_\_\_\_\_

氏名：\_\_\_\_\_

それぞれの項目について自身の成果、グループの成果、自身の課題、グループの課題、学校事務的な課題、感想等を記入ください。

研修の進行について（日時・会場，研修の進め方）課題（改善事項）：タイムマネジメント

--

前回研修のまとめ・振り返りについて

--

研修活動（PF シート交流・課題検討）について

--

H31 全道事務研レポート内容について

--

全体を通して研修会の成果

--

全体を通して研修会の課題

--

本日の満足度 10段階中\_\_\_\_\_（10が良い，1が悪い）

その理由

--

# 考えるための技法の活用

平成 30 年 7 月 3 日(火) 東鷹栖中学校 木村 達也

物事を考える際、「さあ考えてみましょう！」「保護者負担軽減のための方策を出してください！」と言われてもどこから取り組もうか、どこに重点を置けばいいのか困る場合があると思います。そんなときに、こんなふうを考えてみてどうかときっかけがあれば研修会や日常の事務実務の手助けになるのでは考えました。以下の「10の思考ツール」を活用して考察・課題発見に取り組んでみるのはいかがでしょうか？

## 順序付ける

・複数の対象について、ある視点や条件に沿って対象を並び替える。

## 比較する

・複数の対象について、ある視点から共通点や相違点を明らかにする。

## 分類する

・複数の対象について、ある視点から共通点のあるもの同士をまとめる。

## 関連付ける

・複数の対象がどのような関係にあるかを見付ける。

・ある対象に関係するものを見付けて増やしていく。

## 多面的に見る・多角的に見る

・対象のもつ複数の性質に着目したり、対象を異なる複数の角度から捉えたりする。

## 理由付ける(原因や根拠を見付ける)

・対象の理由や原因、根拠を見付けたり予想したりする。

## 見通す(結果を予想する)

・見通しを立てる。物事の結果を予想する。

## 具体化する(個別化する, 分解する)

・対象に関する上位概念・規則に当てはまる具体例を挙げたり、対象を構成する下位概念や要素に分けたりする。

## 抽象化する(一般化する, 統合する)

・対象に関する上位概念や法則を挙げたり、複数の対象を一つにまとめたりする。

## 構造化する

・考えを構造的(網構造・層構造など)に整理する。

探究的な過程のなかで「考えるための技法」を活用することが大切であると考えられる。「考えるための技法」を活用するということは、自分が普段無意識のうちに立っていた視点を明確な目的意識の下で自覚的に移動するという課題解決の戦略が同じ物事・現象に対して別な意味の発見を促し、より本質的な理解や洞察を得るといえる学びである。

「考えるための技法」の活用することの意義は2つ考えられる。

1つ目は探究の過程で「情報の整理・分析」の過程における思考力、判断力、表現力等を育てるという意義である。情報の整理・分析においては集まった情報をどのように処理するかという工夫が必要になる。「考えるための技法」はこうした分析や工夫を助ける。

2つ目は協働的な学習を充実させるという意義である。「考えるための技法」を使って情報を整理、分析したものを紙などを書くことによって可視化され共有して考えることができる。可視化することで思考を助けることができ、抽象的情報を扱う際などに効果的である。

しかし、こうしたツールを活用すること自体が目的化しないように気をつけることも大切である。

(参考 中学校新学習指導要領総合的な学習の時間編)

# マズローの5段階欲求説を活用しよう～第1グループ全道研プレ発表をみて～

平成30年8月24日(金) 東鷹栖中学校 木村 達也

8月6日上川教育研修センター講座「学校事務実務」に参加しました。提言で緑ヶ丘中事務職員谷口さんが今秋、全道事務研第4分科会での研究発表にむけたプレ発表をされました。発表の途中に第1グループの研修の様子を記録したビデオ鑑賞しました。映像の中に「なんのために働くのか?」「どんな学校事務を目指すか?」という問いに対して、会員が答えていくという内容がありました。印象的だったのは会員各々の答えが多様だったことです。そして、この映像を見ていて、これはまさに「マズローの欲求5段階説」じゃないか!!と思ひ出しました。今日は研修のはじめに、モチベーションについて少し考えてみましょう。

## 5段階欲求説とは

アメリカの心理学者である A・マズローが「人間は自己実現に向かって絶えず成長する」という仮説をもとに作られた理論(1943年「人間の動機づけに関する理論」)である。人間には5段階の欲求があり、モチベーションの向上のためには、人間のもつ5つの欲求を満たす環境を構築していくことが必要であるというものです。心理学のみならず経営学、教育学などといった隣接領域にまでマズローの思想は及んでいる。

人間みんな持っている5つに階層化された欲求とは以下の5つ。①～⑤の優先順に並んだ欲求は、低いものから順番に現れ、その欲求がある程度満たされると次の欲求が現れます。

### ① 生理的欲求

・酸素, 食物, 飲料, 性, 睡眠

### ② 安全の欲求

・身の安全, 身分の安定, 他者への依存, 保護された気持ち, 不安や混乱からの自由, 構造, 秩序, 法, 制限

### ③ 所属と愛の欲求

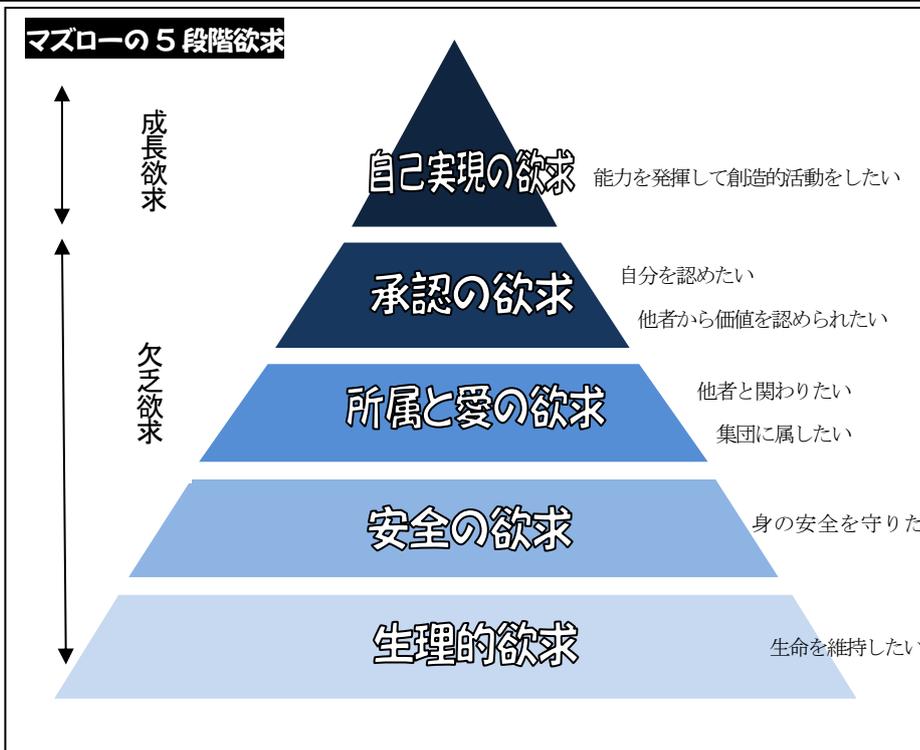
・孤独や追放の回避, 根無し草で生きることの回避, 家族や恋人・友人・同僚などの共同体への参画, 周囲からの愛情

### ④ 承認の欲求

・自己の自己に対する評価の欲求…強さや達成, 熟達, 能力への自信, 独立や自由など自尊心とも言えるものへの欲求  
・他者からの評価に対する欲求…評判や信望, 地位, 名誉, 優越, 承認, 重視などを求める欲求

### ⑤ 自己実現の欲求

・人が潜在的に持っているものを開花させて, 自分になり得る全てのものになり切りたいと感じる欲求, より一層自分であろうとする欲求



参考文献:仕事が早くなる!CからはじめるPDCA 日本能率協会マネジメントセンター編

HP:マズローの欲求5段階説をこの上なく丁寧に解説する。あなたの欲求はどのレベル? (<http://jibun-compass.com/maslw> 最終閲覧日 2018/8/20)

平成29年度 私費会計実態調査【授業編】  
保護者負担軽減に向けた取組のために

学校 特別支援学級含む		学年							備考(入力したデータの補足)	
大分類	学級数 児童数	項目	1年	2年	3年	4年	5年	6年		
授業に直接関係あるもの	H29 学級数	認可補助教材 (教育委員会認可)								
	H29 児童数	補助教材(認可以外)								
	番号	説明								
	1	教育委員会へ届出し認可されている補助教材 副読本、資料、ドリル、問題集、ワークブック								
	2	上記以外の補助教材(副読本・ドリル・ワーク 問題集など)								
	3	テスト(市販テスト) 用紙代	CRT・NRTなど学力を測定するためのテスト(テスト 印刷用の用紙代は、9「その他」へ)							
	4	夏・冬休み帳代	市販であり、単価が明確なもの							
	5	実験・実習 材料代	実験用キット・セット、道具代などの消耗品。実習材料費など(内訳が 必要な場合は下の別表に教科別で記載)							
	6	スポーツ着 帽子など	入学時、必ず購入が求められる基本的なもの (紅白帽など)							
	7	教員全般 (鍵盤ハーモニカなど)	必ず購入が求められる基本的なもの(鍵盤ハーモニカ、リコーダー、習 字・裁縫・絵の具セット、彫刻刀、どびなわなど)							
8	消耗品	画用紙・半紙・模造紙など紙類や、フラットファ イルなど								
9	その他	その他、授業に直接関係あるもの。								
合計			¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	総計	
児童人数									¥0	

↑各学年の児童数を入力してください(特別支援学級)も含む↑

平成29年度 教室実態調査【網戸・扇風機編】

教育環境の整備・改善に向けた取組のために

H29 児童数	人
H29 網戸枚数	枚
H29 扇風機台数	台

H29 普通教室(特含む)	教室
H29 特別教室	教室

網戸あり教室	扇風機あり教室

備考(防衛省予算のため網戸設置不可等)





## H29旭事協第2グループ 5 実験・実習材料代

・実験用キット・セット、道具代などの消耗品。実習材料費など

	学級数 (特支含)	児童・生徒数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考
1	A小	9	1,833	2,040	1,560	2,260	2,298	3,132	
2	B小	15	1,570	1,270	1,615	2,030	2,320	3,460	
3	C小	19	2,455	2,386	1,862	2,680	2,314	2,179	図工、生活科、理科、家庭科
4	D小	16	1,870	1,440	1,540	2,450	2,520	4,330	
5	E小	15	3,830	440	730	810	1,540	1,380	
6	F小	16	2,700	2,395	2,480	2,660	3,210	3,710	
7	G小	26	1,168	1,346	2,024	2,098	2,035	890	
8	H小	19	2,220	1,660	1,620	1,860	1,730	2,020	
9	I小	15	440	910	1,360	1,310	1,980	1,890	
10	J小	6	980	970	2,250	2,230	1,700	1,830	
11	K小	17	2,230	2,230	2,580	2,740	2,990	3,920	アサガオの種等
12	L小	16	1,470	1,400	1,864	1,791	2,441	2,970	生活、図工、理科、家庭
13	M小	26	2,030	1,880	1,940	1,840	3,140	3,220	
14	N小	4		400		2,420		1,190	
平均			1,907	1,483	1,802	2,084	2,324	2,580	
15	N中	4	6,681	21,336	21,400				
16	O中	13	6,500	6,900	6,400				
17	P中	15	4,450	6,350	5,650	美術科、技術家庭科			
18	Q中								
19	R中	7	3,800	7,300	1,600	美術科、技術家庭科、理科			
20	S中	12	5,210	5,850	2,800				
21	T中	19	7,840	7,760	7,560	美術、技術、家庭科			
22	U中	12	2,200	3,000	2,100	美術科、家庭科			
平均			5,240	8,357	6,787				

## H29旭事協第2グループ 11 見学・修学旅行

・修学旅行・宿泊学習等の集金額全額（記念写真代がセットの場合も含める）

	学級数（特支含）	児童・生徒数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考
1	A小	9					7,738	24,700	
2	B小	15					4,700	18,974	
3	C小	19					7,100	18,000	
4	D小	16					7,408	19,950	
5	E小	15					3,616	22,000	
6	F小	16					4,100	19,860	
7	G小	26					6,200	19,367	
8	H小	19					5,600	19,000	
9	I小	15					5,400	19,600	
10	J小	6					10,811	10,811	
11	K小	17					7,720	18,110	
12	L小	16					5,400	19,100	
13	M小	26					6,050	20,150	
14	N小	4						22,899	
平均									
15	N中	4	1,880	1,880	1,880				宿泊研修
16	O中	13		6,500	55,000				宿泊研修 宿泊研修金を学年費へ繰り入れ
17	P中	15		9,100	54,000				
18	Q中								
19	R中	7		5,700	58,000				
20	S中	12		11,600	64,000				
21	T中	19		9,600	55,000				
22	U中	12		8,200	54,160				
平均									
			1,880	7,511	48,863		6,296	19,466	

H29旭事協第2グループ 22 卒業記念品等(卒業記念写真・アルバム・記念事業・アルバム・記念事業・同窓会費)

	学級数(特支含)	児童・生徒数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考
1	A小	9							
2	B小	15							
3	C小	19						14,540	同窓会費500円 卒業アルバム14,040円
4	D小	16						12,000	同窓会費500円 卒業アルバム11,500円
5	E小	15						15,235	同窓会費300円 卒業アルバム14,935円
6	F小	16						14,900	同窓会費300円 卒業アルバム14,600円
7	G小	26						14,800	同窓会費200円、記念品作成1,200円 卒業アルバム13,400円
8	H小	19	300	300	300	300	300	11,300	同窓会費200円 卒業アルバム10,800円
9	I小	15						16,600	同窓会費500円 卒業アルバム16,100円
10	J小	6							
11	K小	17						11,400	
12	L小	16							
13	M小	26							
14	N小	4							
平均			300	300	300	300	300	13,847	
15	N中	4							
16	O中	13			10,300				卒業アルバム
17	P中	15			10,800				同窓会費500円 卒業アルバム10,300円三景スタジオ
18	Q中								
19	R中	7			14,420				同窓会費600円、卒業記念写真420円 卒業アルバム10,300円三景スタジオ
20	S中	12			11,200				同窓会費1,000円 卒業アルバム10,200円
21	T中	19			9,800				同窓会費500円 卒業アルバム9,300円
22	U中	12			10,300				同窓会費500円 卒業アルバム9,800円
平均					11,137				

## H29旭事協第2グループ 網戸・扇風機の設置状況

	学級数(特支含)	児童・生徒数	網戸枚数	扇風機台数	普通教室(特支含)	網戸あり教室	扇風機あり教室	特別教室	網戸あり教室	扇風機あり教室	備考
1	A小	9	79	14	15	9	8	9	7	1	防衛庁予算のため網戸設置不可 本校で自作の網戸を設置
2	B小	15	327	47	31	18	18	16	10		網戸は手製
3	C小	19	414		20	19		16	8		防衛庁予算のため網戸設置不可
4	D小	16	343	214	14	17	17	12	13	13	1教室に2台設置している箇所あり
5	E小	15	283	4		15			4	1	
6	F小	16	272	32	13	16	13	13	7		網戸は全て手製
7	G小	26	599	110	20	26	26	5	6	5	
8	H小	19	456	96	10	19	19	2	8	5	
9	I小	15	256	65	4	12	12	2	7	5	留守家庭児童会1台(扇風機)
10	J小	6	35	61	11	7	7	5	8	7	
11	K小	17	333		18	18		18	6		防衛省予算のため網戸設置不可
12	L小	16	289		17	17		16			防衛省予算のため網戸設置不可
13	M小	26	495	12	34	27		24	11	1	
14	N小	4	7	16	4	4	4	4	3	3	
15	N中	4	9	18	4	4	4	4	4	4	
16	O中	13	305		24	12		12	19		
17	P中	15	430	34	7	15	15	5	16		
18	Q中										
19	R中	7	126	115	5	7	7		9	9	
20	S中	12	302	10	17	11		11	23	4	
21	T中	19	468			16			10		
22	U中	12	284		12		12	14			

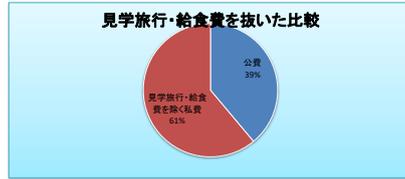
## H29旭事協第2グループ ICT活用編(無線LAN等設置状況)

	学級数(特支含)	児童・生徒数	大型テレビ	タブレットPC	普通教室(特支含)	大型テレビ有教室	特別教室	大型テレビ有教室	備考
1	A/小	9	6		6	6	7		
2	B/小	15	6	10	18		10	2	
3	C/小	19	22	10	20	19	8	3	
4	D/小	16	2	4	17		13	2	
5	E/小	15	14	45	15	14	4		全教室無線LAN対応 無線ルータ4台
6	F/小	16	11	6	16	8	7		配線のみで未設置 (H30年度に入り1年生と市立教室以外の普通教室に設置されました。)
7	G/小	26	2	3	26		6	2	
8	H/小	19	5	10	19	2	8	3	各タブレットごとに無線LANルーターとテレビにつなぐ配線をセットにして入れ物に入れて職員室に配置
9	I/小	15	13	2	12	12	7	1	
10	J/小	6	6	13	7	5	8	1	設置済み
11	K/小	17	10	13	18	8	6	2	1学年につき1台無線LANのルータが設置されているが、回線が混み合っている。動画の再生が滞ることがある
12	L/小	16	8	6	17	8	5		
13	M/小	26	4	16	27		11	4	普通教室、無線LAN配置(職員自作配線)
14	N/小	4	2	3	4		3	2	校内無線LAN設置済
15	N中	4	3	3	4	2	4	2	校内無線LAN設置済
16	O中	13	5	4	12		19	5	体育館、理科室、職員室に設置(ただし電波状況はいちじるしく悪く、新しく購入を計画中)
17	P中	15	13	1	15		16	13	
18	Q中								
19	R中	7	6		7		9	6	
20	S中	12	8	12	11		23	8	
21	T中	19	6		16		10		
22	U中	12	8		12	8	10		あり

## H29旭事協第2グループ 教室環境編 (加湿器設置状況)

	学級数 (特支含)	児童・生徒数	加湿器	普通教室 (特支含)	加湿器有教室	特別教室	加湿器有教室	備考
1	A/小	9	79	6		7		
2	B/小	15	327	18		10		
3	C/小	19	414	20	1	8	1	
4	D/小	16	343	17	13	13		
5	E/小	15	283	15		4		
6	F/小	16	272	16		7		
7	G/小	26	599	26		6		
8	H/小	19	456	19		8		
9	I/小	15	256	12		7		
10	J/小	6	35	7		8		
11	K/小	17	333	18	18	6	6	加湿器はPTAの特別会計より購入している。また、以前は気化式の加湿器であったが、メンテナンス等が大変であり壊れやすいということで、スチーム式の加湿器に徐々に更新している。
12	L/小	16	289	17		5		
13	M/小	26	495	27		11		保健室に養護教師私物加湿器があります (昨年度より)
14	N/小	4	7	4		3		
15	N/中	4	9	4		4		
16	O/中	13	305	12	12	19		普通教室は各クラス1台、特別教室はなし、職員室は4台、保健室1台
17	P/中	15	430	15		16		
18	Q/中							
19	R/中	7	126	7	11	9		
20	S/中	12	302	11		23	1	
21	T/中	19	468	16		10		
22	U/中	12	284	12	9	10		9器教室、2器保健室 2器職員室、1器指導員室

公費	消費品費	¥3,334,669
私費総額		¥19,899,258

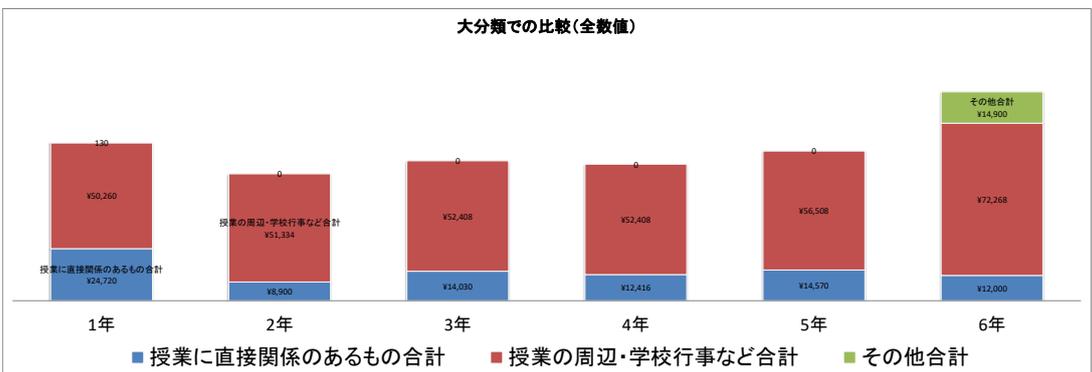
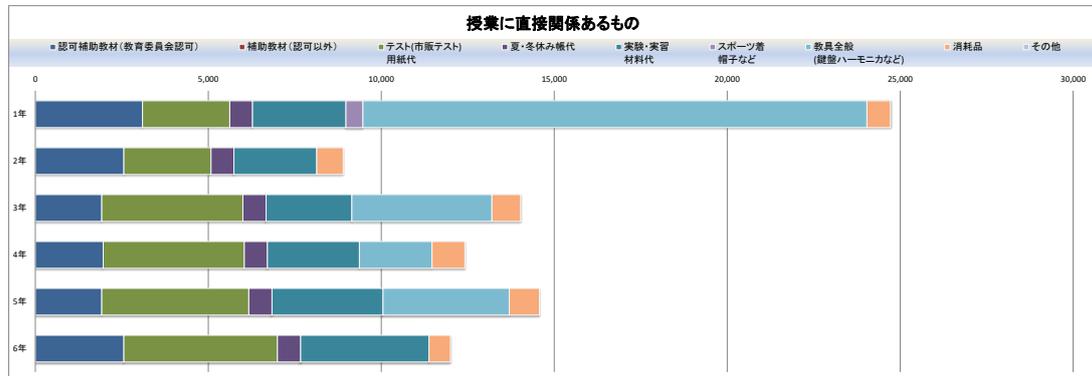


【小学校】

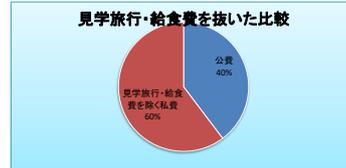
大分類	番号	項目	説明	1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考(入力したデータの補足)
授業に直接関係あるもの	1	認可補助教材(教育委員会認可)	教育委員会へ届出し認可されている補助教材(副読本、資料、ドリル、問題集、ワークブック)	3,100	2,560	1,920	1,960	1,920	2,560	
	2	補助教材(認可以外)	上記以外の補助教材(副読本、ドリル、ワーク、問題集など)							
	3	テスト(市販テスト)用紙代	CRT・NRTなどを測定するためのテスト(テスト印刷用の用紙代は、9「その他」へ)	2,520	2,520	4,080	4,080	4,250	4,440	
	4	夏・冬休み帳代	市販であり、単価が明確なもの	660	660	670	670	670	670	
	5	実験・実習材料代	実験用キット・セット、道具代などの消耗品、実習材料費など(内訳が必要な場合は下の別表に教科別で記載)	2,700	2,395	2,480	2,660	3,210	3,710	
	6	スポーツ着帽子など	入学時、必ず購入が求められる基本的なもの(紅白帽など)	490						
	7	教員全般(鍵盤ハーモニカなど)	必ず購入が求められる基本的なもの(鍵盤ハーモニカ、リコーダー、笛、箏、絵の具セット、彫刻刀、とびなど)	14,570		4,050	2,100	3,650		
	8	消耗品	画用紙・半紙・模造紙など紙類や、フラットファイルなど	680	765	830	946	870	620	
	9	その他	その他、授業に直接関係あるもの。							
授業の周辺・学校行事など	10	視聴・鑑賞	演劇・映画・音楽等の鑑賞代(CD・DVD等の購入は、17「視聴覚・図書費」へ)							
	11	見学・修学旅行	修学旅行・宿泊学習等の集合額全額(記念写真代がセットの場合も含める)					4,100	19,860	
	12	交通費	修学旅行・宿泊学習等以外でのバス代(遠足・スキー学習など)で、全体が対象となるもの		1,074	2,148	2,148	2,148	2,148	スキー学習バス代
	13	保健衛生費	石鹸・トイレトペーパー・消毒用アルコールなど、保健衛生を目的とするもの							
	14	学級・学年写真	入学記念写真・行事写真など(卒業記念写真は、22「卒業記念品等」へ)							
	15	給食費	給食費の年額(学級で違いがある場合は、基本額)	49,800	49,800	49,800	49,800	49,800	49,800	
	16	スポーツ振興センター掛金	市町村での負担がある場合は、「備考」にその金額を記載	460	460	460	460	460	460	
	17	視聴覚・図書費	視聴覚教育充実費等、図書購入等。							
	18	クラブ・部活動費	PTA会費、後援会組織等から集金している金額を記載							
	19	その他	知能検査・各種検査の用紙代・手数料、連絡帳など							
その他	20	児童・生徒会費	生徒会運営のために集金している金額(PTA会費等と一緒に集金の場合は、その金額を記載)							
	21	生徒手帳代	生徒手帳・身分証明書(IDカード)など(生徒会費等と一緒に集金の場合は、20「児童・生徒会費」へ)							
	22	卒業記念品等	卒業記念写真・卒業アルバム・記念事業など						14,900	卒業アルバム14,600円 同窓会費 300円
	23	学級費	「学級費」の名目での集金のもの							
	24	その他	制服・名札など	130						名札
		合計		¥75,110	¥60,234	¥66,438	¥64,824	¥71,078	¥99,168	総計
		児童人数		44	36	54	33	61	44	¥19,899,258

↑各学年の児童数を入力してください↓

大分類	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
授業に直接関係のあるもの合計	24,720	8,900	14,030	12,416	14,570	12,000	¥3,992,198
授業の周辺・学校行事など合計	50,260	51,334	52,408	52,408	56,508	72,268	¥15,245,740
その他合計	130	0	0	0	0	14,900	¥661,320



公費	消費品費	¥4,249,113
私費総額		¥16,406,782

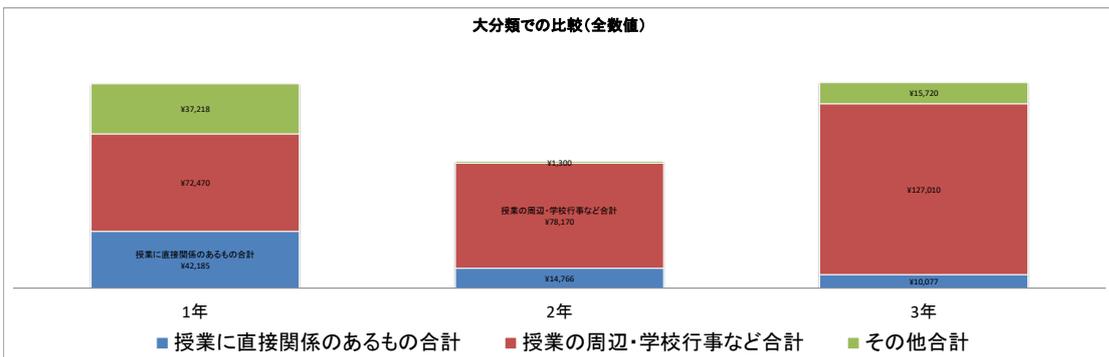
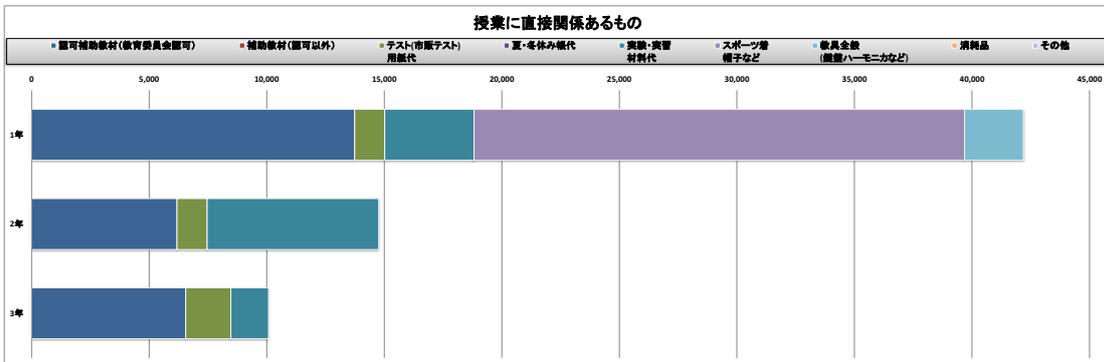


【中学校】

大分類	番号	項目	説明	1年	2年	3年	備考(入力したデータの補足)
授業に直接関係あるもの	1	認可補助教材(教育委員会認可)	教育委員会へ届出し、認可の副読本(道徳、体育など)	13,740	6,186	6,557	
	2	補助教材(認可以外)	上記以外の副読本、市販の資料・ワークブックなど				
	3	テスト(市販テスト)用紙代	北海道文化協会テスト、NRTなど学力を測定するためのテスト(テスト印刷用の用紙代は、9「その他」へ)	1,280	1,280	1,920	
	4	夏・冬休み帳代	市販であり、単価が明確なもの				
	5	実験・実習材料代	実験用キット・セット、道具代などの消耗品。実習材料費など(内訳が必要な場合は下の別表に教科別記載)	3,800	7,300	1,600	美術科、技術家庭科、理科
	6	スポーツ着帽子など	入学時、必ず購入が求められる基本的なもの(ジャージ・運動靴など)	20,865			上靴、ジャージ、ハーフパンツ
	7	教員全般(縦線ハモニカなど)	必ず購入が求められる基本的なもの(アルトリコーダー、笛子・竈竈・給の基本セット、形別刀など)	2,500			美術科デザインセット(希望者のみ)
	8	消耗品	画用紙・半紙・模造紙など紙類や、フラットファイルなど				
	9	その他	その他、授業に直接関係あるもの				
授業の周辺・学校行事など	10	観劇・鑑賞	演劇・映画・音楽等の鑑賞代(CD・DVD等の購入は、17「視聴覚・図書費」へ)				
	11	見学・修学旅行	修学旅行・宿泊学習等の集金額全額(記念写真代がセットの場合も含める)		5,700	58,000	
	12	交通費	修学旅行・宿泊学習等以外でのバス代(通足・スキー学習などで、全体が対象となるもの)	610	610		札幌コンサートバス代
	13	保健衛生費	石鹸・トイレトペーパー・消毒用アルコールなど、保健衛生を目的とするもの				
	14	学級・学年写真	入学記念写真・行事写真など(卒業記念写真は、22「卒業記念品等」へ)				
	15	給食費	給食費の年額(学年で違いがある場合は、基本額)	59,400	59,400	56,550	
	16	スポーツ振興センター掛金	市町村での負担がある場合は、「備考」にその金額を記載	460	460	460	
	17	視聴覚・図書費	視聴覚教育充実費等、図書購入等				
	18	クラブ・部活動費	PTA会員・後援会組織等から集金している金額を記載	12,000	12,000	12,000	部活動育成会12,000円
	19	その他	知能検査・スポーツテスト関係・各種検査(AAI・Q-Uなど)の用紙代・手数料、連絡帳など				
その他	20	児童・生徒会費	生徒会運営のために集金している金額(PTA会費等と一緒に集金の場合は、その金額を記載)	1,200	1,200	1,200	
	21	生徒手帳代	生徒手帳・身分証明書(IDカード)など(生徒会費等と一緒に集金の場合は、20「児童・生徒会費」へ)				
	22	卒業記念品等	卒業記念写真・卒業アルバム・記念事業・同窓会費など			14,420	同窓会費600円 卒業アルバム13,400円 卒業記念写真420円
	23	学級費	「学級費」の名目での集金のもの	100	100	100	
	24	その他	道路は道路指導費など全体から集金の場合のみ記載。制服は男女の冬服の平均額を記載。名札など	35,918			
合計				¥151,873	¥94,236	¥152,807	総計
生徒人数				38	48	40	¥16,406,782

↑各学年の生徒数を入力してください↑

大分類	1年	2年	3年	
授業に直接関係のあるもの合計	42,185	14,766	10,077	¥2,714,878
授業の周辺・学校行事など合計	72,470	78,170	127,010	¥11,586,420
その他合計	37,218	1,300	15,720	¥2,105,484



## グループ研修会①振り返りシート まとめ

～研修と研修をつなぐPDCAサイクル確立のために～

平成30年7月3日

◎出席率：19／24（2名勤務不要） 79.1%

◎振り返り 14回答

### ●研修の進行について

- ・研修計画や骨子などの事前準備お疲れ様でした。配布資料があったおかげで、研修の方向性などもみえて良かったのではないかと思います。進行については、もっと遠慮なく、皆さんに意見を求めてもいいのかと……。そのためには、事前に資料が出来上がってれば、グループ員に配布し、事前に目を通してもらうなどの方法をとってはどうか？
- ・とても考えて研修の内容を作成していただいたので、円滑にすすんでいたと思います。
- ・意見を求める場合でも、考える視点が分かりやすくてよかった。「研修の質を向上させるための手法」がとられていたと思います。
- ・グループ長さん・副グループ長さんが、上手にまとめていたと思います。
- ・グループ長を中心に進めることは素晴らしいことと思います。
- ・気になる点を言えば、一言も発言しない方が居られることです。大変難しいとは思いますが、仲間で落ちこぼれるな事務職員を作らない手立てが必要と感じています。
- ・スムーズに進行していたと思う。
- ・滞りなく進み良かったです。事前にレジメをデータで送り「読んでくること」を前提に進められれば、議論の時間をより持てるかなと思いました。忙しさによっては難しいかもしれませんが…
- ・精力的に進行していました。ご苦労様でした。次回から、参加者の声がほしいですね。
- ・さすが？2回目のグループ長ですね！何をしなくてはならないかを理解してスムーズに進行されていたと思います。言いたいことややりたいことがいっぱいあって？時間があつというまだったことでしょうか！！
- ・資料にして準備してくださっていたので、何をやっているのかわかりやすかったです。
- ・盛りだくさんな内容でしたがわかりやすかったです。木村さんお疲れ様でした。

### ●今後に向けて

- ・事前に資料配布ができるように準備を進めていくことも必要。
- ・発言しやすい進行、研修のスタイルを工夫していく。少人数グループや話題のふり方等。

### ●実践「アイスブレイク」について

- ・午前「事務担会議」もあり、お昼ご飯もあり、眠気が催す時間に、気持ちをリフレッシュするには良かったと思います。
- ・コミュニケーションをとるきっかけになったのではないかと思います。
- ・てれくさいです。
- ・年齢に関係なく最初は緊張します。名前だけの自己紹介のあと、すぐに資料に目を通す通常の流れより、お互いの顔を合わせ、わずかにコミュニケーションを図るだけでも緊張がほぐれ、距離感が近くなったと感じました。
- ・なにかと研修というのは、緊張するものでありますので、このような取組みは素晴らしいと感じました。参加してみたかったです。
- ・“あたま”が堅い人間には少々戸惑いましたが、研修を始めるときだけではなく、研修中に話が止まったときにも有効かと思いました。
- ・面白い取組と感じました。
- ・更に新しいネタ(?)で参加者が少しでも打ち解ける雰囲気でしたら良いと感じました。
- ・リラックスして研修へ臨むことができたと思う。
- ・普段あまり話せない先輩と話せて楽しかったです。
- ・研修に入る前に試みるのは効果的かと思いました。いろいろチャレンジしてみましよう！
- ・堅くなく発言しやすい雰囲気になり、助かりました。
- ・私は先にあらかじめ何をするのかをわかっていたので対応できましたが「アイスブレイク」自体を初めて知ったとしたら「何それ？」ってちょっと戸惑ったかもしれません。場をなごませるには効果的だったと思います。
- ・最初は何をするのか緊張しましたが、アイスブレイクをしたことで雰囲気が柔らかくなったというか、ほぐれた感じがしたので良かったと思います。
- ・場が和やかになってその後の討議がしやすくなったと思います。

### ●今後の向け

- ・毎回の取り組みにはならないかもしれませんが、グループ討議のグループ分けなどでも活用できます。研修の目的や達成するため、課題に全員で取り組むための場・雰囲気づくりのための1つの手立てと知る機会になった。

## ●研修計画の作成について

- ・良いと思います。
- ・グループレポートですので、グループ長・副グループ長や、レポート担当者だけに負担増とならないようにしてください。協力は惜しみません。
- ・研修計画の日程がでていましたが、スクールカレンダーを持参ということで、各学校の行事等に合わせていただいていたよかったですおもしろい。
- ・全道事務研までの期間に余裕があまりないということを踏まえて、現実的に全員で取り組める内容を計画できたと思います。毎回、全員で同じ宿題を行い取りまとめることで、課題の検証がしやすくなると思います。
- ・勤務校で直接事務職員が係わっていない事案でも、グループとして事務職員の視点・視野で考えてみましょうという取組は良いと思います。
- ・PFシートの活用が提起され、新たな財政財務活動振り返りとして注目されてきました。私もまだ分からないことが多いのですが、PFシートを活用し、財政的には余裕の多い旭川市ですので、保護者負担軽減につながるような研修を深めることができれば良いと思っています。
- ・次年度に向けて、作成した研修計画に基づき深めていきたいと思う。
- ・今年度、予算に関して、要望事項（学級増・職員増）を市教委に提出しました。5/1日現在の児童数学級数等で調整するそうですが、学級・職員増に伴い支出増になった項目について、少しでも予算化されることを願って提出しました。
- ・グループ研修をやりながらその実態をレポートにしていく取り組みはうまくいけば一石二鳥ですよ？
- ・グループ全員がレポートを作り上げていく感じで進めれば良いと思います。
- ・研修を進めていくうちに「PFシート」ができあがって中身の検討をできるよう進めましょう。
- ・全6回を通してどういう流れで進めていくのか話があったので、把握しやすかったです。
- ・PFシートを徐々に作っていく過程で、今まで知らなかった自校の現状もわかってくるので自分のためにもなりそうだと感じました。
- ・計画段階で年間の具体的な目標が立てられていてよかった。

## ●今後に向けて

- ・研修もレポートも一部の会員で進めるのではなく全員で共通の取組みを進める過程で課題発見や研修実践を積み重ねていくことを共有することができた。具体的な研修計画となった。
- ・PFシートの作成が目的ではなく、作成の過程や研修を通じて保護者負担軽減と旭川市の現状把握という目的を理解できた。

## ●レポートの概要について

- ・当日、お話したとおり、個人的には良いテーマで、興味深い骨子だと感じています。レポートにもあるとおり、17年4月の「法改正」は、北海道のみならず、全国の「学校事務職員」の『しごと』に大きな影響を及ぼすものとなってきます。OJTの考え方も、行政による一方的な「研修」だけ（？）ではなく、私たち学校事務職員が自主的に、子どもたちの生活の場としての「学校づくり」の視点をもって「研修」と「交流」を行うことが大切だと感じています。経験年数が多様な会員が所属している2グループですので、意見交流も活発に行いながら、この概要を基にレポートづくりを進めていくのが良いと思います。
- ・文書の中に「ベテラン事務職員から学ぶ時間が限られた中で多くの事を学び」という文言がありましたが、私はベテラン事務職員と一緒に仕事をしています。隣で多くの良い面、悪い面と多くのこと見て学んでいます。こんなに近くで学ぶ機会も少ないので、貴重な時間を大切に学んでいきたいと読んでいて思いました。
- ・「世代交代」は漠然と考えがちですが、それをテーマにしたレポートは素直に面白いと思います。
- ・「レポート検討委員研修会①まとめ」を提示し、目指す分科会も明確にすることで、今後、研修に参加する上での「気構え」がわかり、実践の成果も得られやすいと思います。
- ・自分も感じたことですが、赴任してすぐに戦力として実践しなければならない状況は、とても不安であり、かなりのストレスと感じました。しかし、研修などで先輩事務職員に話を聞いてもらえたので、そのような不安などはすぐにはなくなりましたが……。なので、研修はかなりの助けとなりますので、積極的に参加していきたいと感じております。
- ・概要からは、世代交代期における研修の活性化に向けた取組のレポートになるのかと思いました。
- ・レポート作成に関して、若い方はもちろん、ベテランの方もしっかり論議の中に入ってくださいというメッセージが、ひしひしと伝わってきました。
- ・日常の事務実践をはじめとした「協力・共同による学校づくり」の視点をもって、グループ内での話し合いが必要かと思っています。
- ・まだ理解できていない・判断できていない部分もあるため、これから把握していこうと思う。
- ・研修を進める中で、各学校で実践が少しでも進むことを期待しています。
- ・とても良い方向だと思いました。特に先輩方の経験を受け継ぐことについては僕も大事だと思いました。
- ・いろいろな人からいろいろと意見をもらって、進めていけばいいと思います
- ・経験が浅いと難しいことやわからないこともたくさんあるのかなと思っていましたが、そういう事も含めて、若手の事務職員と

して力になれる事があればいいなと感じましたし、ベテランの方の考えをたくさん聞いてみたいと思いました。

・短期間で現在の事務職員の課題に合ったテーマの概要が作成されており、今後は楽しみです。

### ●今後に向けて

・研修を重ねていく中で会員の多様な視点・思い・経験をレポートの記していけるよう活発な実践となるよう進めていく。

### ●全体を通して

・久しぶりのグループ研でしたが、出席できて有意義でした。

・役員の方々には1年間ご苦労をおかけいたしますが、よろしく願いいたします。

・沢山の資料を準備していただきありがとうございます。今後第2グループ内の学校で分けて交流（中学校と小学校に分かれて交流等）していくとあったが、良い交流だと思います。

・話しやすい雰囲気の中、研修がすすめられたと思います。最後の実務研修でも、世代間での発言がありよかったですと思います。

・経験年数の若い方でも気軽に話ができるような、「楽しい第2グループ研修会」にしましょう。

私を含めた経験年数の多い方からの上から目線的な話し方には、十分に気をつけなければいけないと感じました。

・より良い研修が進められるよう参画していきたい。

・次回からの研修の見通しも立ち、今後は楽しみにする1回目でした。

・毎年、配当予算が減額される中で、保護者負担軽減のとりくみ・教育環境の整備を図るのは、容易ではないと思われます。研修を通して、いい方法があれば実践したいと考えます。

・次回からは若い方が気軽に発言できるよう進めていければいいですね。グループ研修に参加して何か一つ発言したとか？一つわからないことがわかったとか？わだかまっていたことがすっきりしたとか？

そういう場にはできればいいですね！頑張りましょう。いつもは研修にでも振り返りのシートに記入することはなかったのですが自分に義務をかすとわりと書けるものですね？？私も自分にむち打って頑張ります

・研修自体を工夫していくとの事だったので、経験年数の浅い者も取り残されないように考えてくれていると感じました。ベテランの方も若手もみんなで作っていくのは簡単ではないのかもしれないけど、協力していけたら事務の仕事もより充実していくと思いました。

・当日の討議の内容がすぐメールで送られてきてとても分かりやすいです。欠席者もこれを見て大体の研修の様子がわかるのではないのでしょうか。あとはどれだけ研修が深まるかですね。私もできるだけ協力していきたいと思っています。

### ●今後に向けて

・研修の雰囲気づくり、資料の充実度を高めて研修会の質を向上できるよう準備を進めていく。

**当日の満足度 回答平均 8.38**

### ●その理由

・決して少なくない参加人数ですが、もっと多くのグループ内の会員が出席することを期待する（8）

・午前中に事務担当者会議、午後ブロック会議があったので、給食を食べるためだけに学校に戻ったので、移動が大変でした。研修の内容については、皆さんのことを考えて作成していただき、スムーズに進んでよかったと思います。（9）

・研修計画もかたまつたし、かなりよかった（9）

全体で目指すところが明確にされており、今後の研修は「一人一役、全員主役」という意識をもって参加しやすくなったと思います。（10）

・研修会としての満足度は「10」です。研修会の中で、ひとつでも今後の事務実践や学校事務をすすめていく上での示唆をいただくものがあれば、良いと考えているからです。ただし私個人の評価としては「5」より低いかもしれませんが（自身の発言が少なかった等々）。（10）

・新たな取り組みも有り、楽しく研修ができたと思うが、不明瞭な点のあることと全員が同じ方向を向いて研修を深めることができたのかという点で？が付きます。（6）

・もっと意見を出そう！と意気込んだ研修初回でしたが、何も言えず。自分たちへの戒めを込めてマイナス2点です。次回もよろしく願います。（8）

・精力的に、研修を進めていました。今後もよろしく願います。（8）

・木村さんの行ったアイスブレイクの効果だと思いますが、情報交流や、意見交換がいつもより活発でとても勉強になったため。（8）

・ここまで準備するのは本当に大変です。お疲れ様です。これからまだまだ楽しめそうですね。（7）

・今回は第1回目なので今後の計画や流れなどを理解しました。今後、調べた調査の結果等を話し合ったりして深いものにしていただけらと思う、7にしました。（7）

・非常に質の高い研修だったと思いますが、やはり発言している人が限られている。難しいと思うのですが、特に若い人の発言が少なくて、研修内容を理解しているのか不安になります。（9）

## グループ研修会②振り返りシート まとめ

～研修と研修をつなぐPDCAサイクル確立のために～

平成30年8月24日

◎出席率：19/24（2名勤務不要） 79.1%

◎振り返り 13回答

### ●研修の進行について

- ・いろいろな学校での研修はよいと思う。
- ・進行自体に問題は感じませんでしたが、会場が広すぎるため声の通らない人もチラホラと…会場にもよりますが、意識して声を大きめにするよう声をかけていただけるとありがたいです。
- ・前回に増して活発な研修になったと思います。グループ討議の中では今後につなげるような意見・疑問が出て非常に良かったです。少人数だと話しやすい上に、それぞれに役割が当たり若手としては「学びがあった」「参加できて良かった」と充実感を強く感じました。
- ・まずは、会場を貸してくださいました、啓北中に御礼申し上げます。
- ・小グループ毎の議論は、発言の機会が増えるので良いと思いますが、内容が多すぎたような感じが・・・
- ・自由に議論することも大切だと思いますが、一定の方向性と目的性があったらもっと良いのかも・・・
- ・今日やることの構成や順序などをしっかり考えてくださっているのが、スムーズに進んでいたと思います。グループ分けの方法とかも工夫してくれていると感じました。
- ・事前に振り返りのまとめをメールで送っていただいていたので、円滑に進んでいたと思います。
- ・研修の主体が4人1組のグループとしたことで非常に話しやすい雰囲気でした。又、グループのメンバー決定に際し、参加者の意思に委ねることなく年齢に偏りのないグループ構成になっていてよかったと思います。
- ・まるでベテラン教師のような進行でとても頼もしいと思いました。
- ・会場は快適で良かったです。
- ・日時・会場→問題ないと思います。
- ・研修の進め方→木村さんの研修進行にはただただ頭が下がる思いです。非常に年齢幅の広い研修であることを踏まえ、極力意見交換が滞らないよう、1回目のアイスブレイク、今回のワールドカフェ形式の研修を実施していただくなど、創意工夫にあふれていて素晴らしいと考えます。
- ・グループ長さんが精力的に進めてくれたと思います。
- ・学校を会場にして行ったのが大変に良かった。但し、全て学校会場とするのは負担となる場合があるので、研修内容に応じて会場は決定したら良いかと思います。

### ●今後に向けて

- ・学校を会場にすることで自校と比較する機会もできる。（研修とは別の副次的効果もあるかもしれません）
- ・会場が広くても人数が限られているので前に詰めて距離を近くすれば、大きい声を出さなくてもすみます。
- ・少人数グループでの話しやすい雰囲気を大人数でもできるように研修の進行や個人個人の意識で心がけていければ研修の質も向上します。（校種別グループや児童・生徒規模ごとのグループや座り方にするなど）

### ●「振り返りのまとめ」PDCAサイクルについて

- ・個人的にもう少しPDCAサイクルの学習が必要と感じました。
- ・ややもすれば振り返ることをおろそかにする私にとってはこうして時間をとることは有益であります。
- ・PDCAサイクルはほとんどの人が無意識に実践していると思いますが、意識することでより効果が高まると思います。他の方からの振り返りにギクッとすることもあります。高い意識を持ち続けるためにも、今後も振り返りのまとめを希望します。
- ・機会を重ねるごとに、身につけていくのではないかと思います。やはり、時間の都合もあると思いますが、一定の方向性と目的性を明確にした上で、研修を深めていくことが必要なのかと・・・
- ・それぞれの振り返りをまとめてもらえると皆さんがどんな事を考えているのかわかるので、良かったです。PDCAサイクルは普段の仕事の中で忘れがちになってしまうので、少しでも意識していきたいと思いました。
- ・振り返りのまとめは、参加者の意見、考え方にふれられて勉強になりました。
- ・PDCAサイクルについては、一見簡単のように見えますが、実際に行おうとすると意外と難しいことがわかりました。
- ・振り返りシートの記入は、今回の研修についてどうだったのかを、参加した一人一人が思いを巡らせるきっかけとなり、次の研修へつなげるよい取り組みだと思います。数名の回答が得られていないことが気になります。
- ・振り返りで出た意見をすぐに次の研修で改善できていてよかったと思います。

- ・研修の記録を残し、共有するのは大事なことと思います。PDCA サイクルまで意識して話すのは私には大変でした。
  - ・PDCA を回すというのは簡単なようでなかなか難しいと思った。特に C/A の部分が難しいと感じた。実行したら振り返って、そこから何かを学ぶ必要がある。KPT (Keep/Problem/Try) などでは問題を発見して Try することによって C/A を実践しているイメージかなと…。
  - ・学校現場で PDCA サイクルを実践しようとするとき、少なくとも P【計画】段階で各学校の業務分掌に応じた計画を作り上げるための事務視点での PDCA 思考 (要は事務として客観的にその計画そのものを俯瞰しているのかどうかを確認するための試行段階) が必要不可欠なのだろうと、そんなことを再度認識するきっかけになりました。研修後、空回りしていた思考過程が少し改善されたこと、大変ありがたく思いました。いずれにしろ、事務として、小さなことからかもしれませんが、数多くの先生方と交流を重ね、それぞれの PDCA を理解したうえで、学校全体に事務からの PDCA を波及させていくことができればよいのだろうと考えました (まだまだ、私自身は全くできていませんが…)
- ついでながら、PDSA サイクルというのがありますね。C【check】が S【study: 研究・論証・考察の意味での study】になっている発展形みたいなものです。事務職員協議会の研究はこちらのほうが近いかもしれないと思いました。
- ・以前 (昔) 上事協で行っていた「サイクル化のとりくみ」を思い出しました。
  - ・大変に勉強になりました。

## ●今後の向けて

・普段だれも何気なく行っている PDCA ですが、それぞれをより具体的な方法や視点を意識することで、気づきが増えます。またこうした気づきを個人で内省することも大切ですが、組織や職種として共有すること (可視化) できれば、具体的な成果や課題が顕在化します。

## ●研修 (グループ討議・考えるための技法) について

- ・意見が出しやすいし、質問もしやすい。ぜひこれからのグループ研でも継続していただきたいです。
- ・グループでの討議はいいと思うが他の学校の状況を知ることも必要に思えた、もっといろいろな学校の状況を知ることができたらよかった。
- ・少人数のグループワークは全員に役割があたりとても良かったです。若手・ベテラン問わず発言できたように感じます。グループ討議以外のワークショップ (ワールドカフェや保護者に立場を置き換えたロールプレイなど) ができれば、飽きなく研修を続けられるのではないのでしょうか。様々な思考方法を学ぶと同時に、その意見をぶつけ合う方法も学べれば、今後の研修にも活きるかと思えます (準備側の負担が大きくなるのが懸念されますが…)
- ・「考えるための技法」というのを、あえて意識したことがなかったため、最初のうちは戸惑いを感じましたが、普段意識して使わない技法を意識して使うというのは、個人によって異なるものもあり、面白いやり方だと感じました。凝り固まった脳みそには刺激的・・・は言い過ぎかな。
- ・少人数のグループで話し合うと、普段なかなか話せない方とも話せるし、聞いたりできるので良いと思います。回数を重ねごとに充実した研修になりそうだと思います。
- ・グループ討議では資料だけでは分からない部分はあるなと思いました。しかし、想像 (この学校はこうなんじゃないか) をしたり良い交流だと思いました。
- ・考えるための技法についてまとめられた資料は、初めて見たような気がします。私が普段何気なく使っていると思われるのは、「10の思考ツール」のうちの一部に過ぎないことに気づきました。今後何かを検証する際は意識して取り入れたいと思います。
- ・時間がなくて全部の項目を討議することができなくて残念でした。次回は内容によっては2回にわたって討議するのでもいいかなと思いました。
- ・4～5人で話すのはとても話しやすかったです。
- ・G 全体で PF シートを作成し、それを持ち寄った形での討議を進めていくことは、とても重要だと考えます。7/18 に学校事務の共同実施の講話がありましたが、そこでの運営の一端は、PF シートなどの客観的足りうるデータを分析し統合し様々な学校事情を鑑みながら運営をしていくことなのだろうと、そう考えました。全道研修会に向けてレポート作成をする資料として、PF シートからの第2G ならではの新しい考え方とこれまでの経験からの考え方の接点と発展形を作り上げる良い手段だと、そう考えます。
- ・情報の処理や分析において、普段意識しないでやっていることや、考えたことのない視点が記載されていて有効でした。
- ・グループ討議においては、全てのツールを同時に使用すると話がまとまりづらくなりそうな気が…。
- ・相互に活発な討議ができて、大変勉強になりました。

## ●今後に向けて

・1つの例としてあげた「考えるための技法」ですが研修だけでなく日常の業務等でも「考える」ことは当たり前に行います。しかし「考え方」を具体化して「考える」人はほとんどいません。保護者負担軽減のための課題解決を研修会の中で進めていくは多様な思考とその思考を共有することが不可欠です。技法を使うことが目的ではなく、技法を活用してどんな目的を達成するかを確認・共有することが必要です。

## ●全体を通して研修会の成果

- ・学校に持ち帰って検討できるものが多くて良かったです。
  - ・研修のテーマにそって各自の考えや思いを知り、それを我が身に置き換えながら、これからの実践に活かしていけると思う。成果は大ありだった。
  - ・各人の発言の活発化という面では、少人数制にすることで改善できたと思います。
  - ・代表者に負担が集中している部分は改善すべきではないでしょうか。振り返りのまとめやPFシートのデータ集計などは、ひな形さえあれば誰でも手伝える部分だと思います。若手に任せていただければ参加（協力）意識もより高まるのではないのでしょうか（木村さんが赤を入れなくてはならない、という面では負担軽減できていない気もしますが・・・）。
- また、全てを木村さんが行うことで「木村さんが異動した後の会議・研修」への不安もあります。これまでを踏襲すれば若手に役職が回ってくる可能性があります、うまく準備・進行できるだろうか等。「世代交代」をテーマの一部に置いていることもありますし、若手への指導という意味でも準備作業の分散化ができたらと思います。
- ・小グループで論議したことにより、多くの会員が、考え・発言する機会を持てたことは、良かったと思います。
  - ・グループに分かれて研修をするのは昨年とは違う研修の進め方だったので新鮮でした。少人数なら少しだとしても全員が発言できると思います。
  - ・保護者がどれだけ負担しているかと知れたことが成果なのではないかと思えます。この研修を行わなければ保護者がどのくらい負担しているのか分からなかったはず。特にジャージ購入金額、制服購入金額は自分じゃわからず、担当の先生に聞きましました。“知る”ということも一つの成果なのではと思えました。
  - ・4人1組のグループ討議は、年齢の違いを超えて平等に意見を出し合い、同じ目線で行えたことが大変良かったと思います。
  - ・目的通り参加者全員がとりくめる研修となってきましたね。
  - ・研修全体が見通しをもって企画されているので、わかりやすいです。
  - ・参加者全員が参加しているのが良いと思います。
  - ・PFシートから、他校の状況などを研修することができたことは大きな成果だと考えます。
  - ・少人数のグループ討議では、発言を迫られる（？）ので緊張感をもって望むことができました。

## ●今後に向けて

・今回は少人数だから発言しやすかった。なはしたくない人とも話せたという成果が多くの振り返りから見とれるが、話す内容を制限して、役割を強制的に振ったことも要因の1つにあげられます。今後はより人数の集団や幅や深さのある議題でも同じように活発な議論ができるように準備したい。

## 当日の満足度 回答平均 8.7

### ●その理由

- ・上の成果と同じ。(8)
- ・当然10でしょう。ああなるほどなあ、と思える研修に悪いはずがないです。(10)
- ・ブロック会議・グループ研修ともに充実感のある3時間でした。会議の中でシーリング機材について櫻井さんが詳しく説明してくださりましたが、非常に有り難かったです。わからないことがまだ多いので、逐一説明して下さると置いてけぼり感が少なく助かります。それと同時に、わからないことをわからないと発言することが若手には必要かと思えます。私は全くできていないので・・・。グループ討議では先輩の話聞くことはもちろん、自分の意見を発信して先輩からアドバイスをもらうことによる学びが大きいと思います。積極的に発言すること、それによって他の若手も発言しやすい空気を作れるよう、研修への臨み方を改善していきたいです。(8)
- ・途中退席したため・・・。ごめんなさい。(5)
- ・あまり話す機会がなかった先輩の方々とお話できたので勉強になりました。(9)
- ・全体での発言より少人数のほうが発言しやすかったです。(9)
- ・4人1組のグループにして、参加者全員が必ず司会・発表のどちらかの役割をさせることは文字通り「一人一役、全員主役」で進める素晴らしい研修内容だと思います。半面、そのような役割を得意としない人にとっては、毎回このような研修かと考えるだけで「少し重荷」と感じる人もいるかも知れません。(10)
- ・テーマに沿った研修ができてきていると感じました。(9)
- ・グループ長さんの負担が大変そうに感じます。私はなにをしたらいいのか？
- ・自分にとって、考えを深めるきっかけを得ることができたからです。10点評価ではないのは、単純に自分自身の意見が満足に言えたかどうかと、そう反省しているだけです。(9)
- ・いろいろ考えることができました。(10)
- ・たくさんの貴重な資料を準備していただきました。

## グループ研修会③振り返りシート まとめ

～研修と研修をつなぐPDCAサイクル確立のために～

平成30年10月3日

◎出席率：19/24（2名勤務不要） 79%

◎振り返り 12回答

### ●研修の進行について

- ・良かったと思います。
- ・若い世代の人たちも**気楽に話をできる環境と進め方**は、これからも続けていきましょう。
- ・日時・会場、研修の進め方、全て良かったと思います。
- ・色々な学校で開催されるので、行った事のない学校へ行けるのは為になります。
- ・グループに分かれて話し合うのと全体で話し合う時間配分も丁度良かったと思います。
- ・学校での開催も、新鮮な気持ちで研修会に臨めるような気がします。
- ・グループ長さん・副グループ長さんを中心に、スムーズな進行だったと思います。
- ・小中学校に分かれた研修はとてもよかったです。学校ごとに抱えている課題が異なるのは当然ですが、それぞれの課題について、共通の認識を持って話し合いができたのは大変有意義でした。また、木村さんが研修進行について、自らが発言する位置取りにまで気配りをして運営していることに少なからぬ感銘を受けました。
- ・あらかじめ 小中学校別に話し合う場所を設定しており、スムーズな運営ができたと思います
- ・いろいろな学校で研修するのはいいと思いましたが、端にある学校で行うのは車の無い方にとっては大変だったのかもしれない。
- ・前回の啓北に続き今回は東鷹栖と、色々な学校を巡って楽しいです。人数が多いため、駐車場や会場の問題はありますが続けていければ・・・と願います（環境を変えると集中力が上がるなんて迷信もありますね）。個人的には、学校に限らず地域の会館なども行ってみたいです。
- ・とてもよかったです。
- ・日時・場所については、特に問題ありません。**学校を会場にすることは、他校の様子も知る機会にもなりますので良い**と思います。
- ・よいです。

### ●今後に向けて

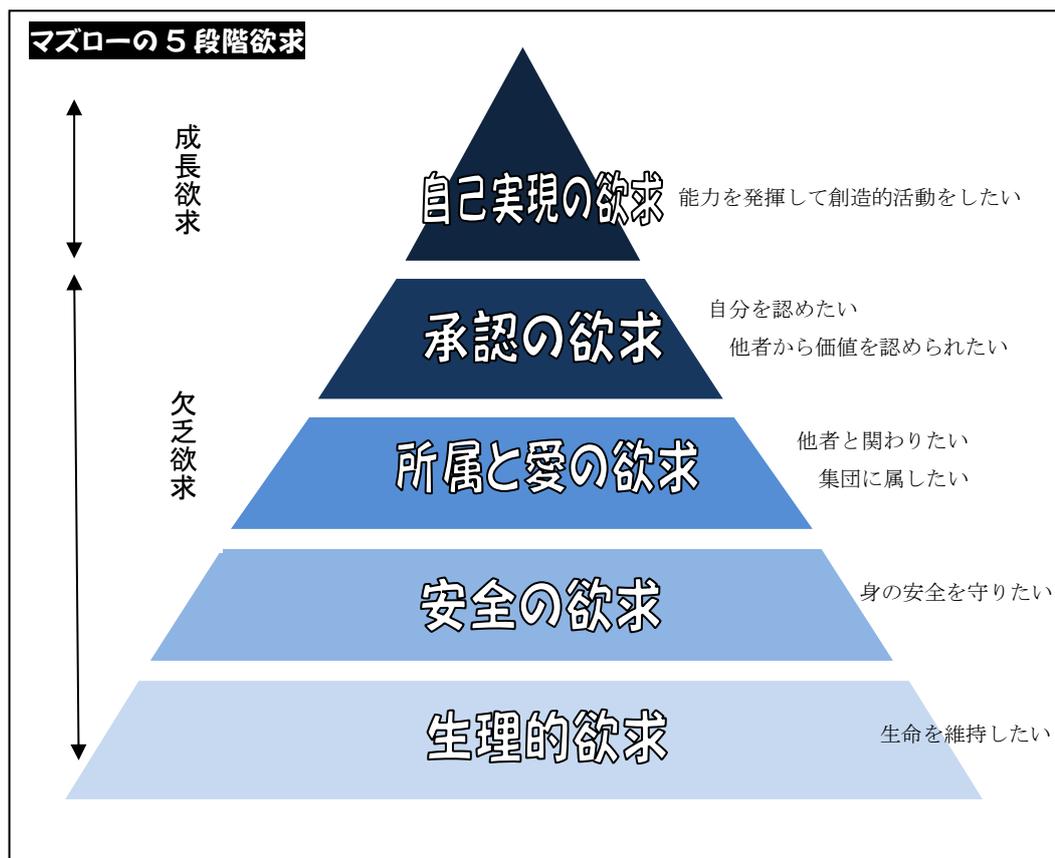
・研修会場については、貸してくださる学校の兼ね合いもありますが、参加者や学校の負担や迷惑にならないようにしながら、工夫して開催したいと思います。（場所を変えることで得られた個々の気づきや成果もあったようです。）

### ●マズローの5段階欲求説・前回のまとめ・振り返り集約について

- ・マズローの5段階欲求説、懐かしかったです。日々の仕事のちょっとした時に、「あ、これだ」と感じたりすると、**新しい発想が芽生えたりするのも・・・と、考えたりしました。**このような、一見、仕事と密接しなくても、知識として知っておいたら良いことは、他にもたくさんあるんでしょうね。
- ・まとめ、振り返り集約、事前配布ありがとうございました。やはり、**事前に目を通しておくことは必要だ**と思います。
- ・マズローの5段階欲求論は、大変に勉強になりました。研修後に調べてみたところ、大変有名な学説であることを知り、己の浅慮を恥じております。
- ・初めて聞きましたが、自分はどうかだろうと考えるきっかけになりました。4段階5段階の欲求を満たされるよう行動していかなければならないと思いました。
- ・皆さんに最近会えないので、「所属と愛の欲求」が満たされていません。
- ・「マズローの5段階欲求説」は、**分かったような、そうでもないような…。**済みません。
- ・マズローの5段階欲求説について、個人的に事務職員という仕事には「承認欲求」が付きまとうのではと考えてしまいました。もちろん「自己実現欲求」を限りなく高めることは「事務をつかさどる」と法令に明記された以上、常に意識すべきことだと思いますが。（心理学の勉強は大学生の時にしばらく一生懸命やっていたなあ…とそう思い出しました。マズローの段階に至る前のフロイト心理学を学んでいた時、結局は「○○欲」という「欲望」が人間心理の要なのだろうかなどと、考え込んだ記憶を思い出しました。）
- ・ずいぶん昔、学生時代にきいた話を懐かしく思い出しました。私にとって「**学校事務職員としての仕事**」はどの位置にあるの**かなあと考えました。**仕事をして生活するという、とりあえず公務員として安定した仕事をしているということ。学校では自分一人しかいないということ。自分は事務職員として学校のなかでは唯一無二？の存在という誇りを持っている？？なんかいい

ろいろ一人で考えて面白かったです。前回参加できなかったので振り返りシートの集約をみて様子がなんとなくわかりました。

- ・マズローのくだりは(?)と思っている方もいるかもしれませんね…
  - ・研修の中にこういった「話のネタ」があると面白いですね。仕事や学校現場に紐付いた学習は今後の参考にもなると思います。今回は木村さんに教授いただく形でしたが、30分ほど時間を取って実際に考える実践する時間があつたらより面白いのでは。私は大学で社会教育と心理学を専攻していましたが、ゲーム形式での講義があつたことを思い出しました。
  - ・5段階欲求説は知りませんでしたが、簡単に説明してくださったおかげで理解することができました。
  - ・マズローの5段階欲求説は、非常に興味深く聞かせていただきました。自分は何段階目なのか、すぐにわかりました。又、身近なあの人は何段階目なのか、その人の行動や発言から想像してみるのも楽しいと思いました。
- 振り返り集約では、「今後に向けて」というグループ長の「想い」が記載されており、今後グループ研修に参加する上での、方向性や気構えなどがわかり良いと思います。
- ・ピラミッド型をみて、なるほどと思いました。



### ●振り返りから

・レジュメと説明が拙かったので、わかりにくさや研修と関係ないように感じられた方もいるようでした。また5段階の中でもピラミッドの頂点に向かえば向かうほど偉い・立派であるという風な印象を与えてしまったとしたら非常に申し訳ないです。同じ研修会に参加していても各々で仕事への向き合い方や職業観の違い、動機付け(モチベーション)の差があることを心理学的視点から感じてもらうという意図があり導入(アイスブレイクの要素)で扱いました。世代交代を意識した研修をレポートにする中で、旭事協研修部の意図する積み上げる研修や組織としての課題解決(組織づくり)と学校事務職員各々の成長(人材育成)の両立の難しさを説明する際に使いたいと考えていました。

- ・機会があれば経営学におけるポジショニング戦略も学校事務に当てはめると非常に興味深いと思っています。

### ●研修(小中別分科会)について

- ・同じ学校事務であっても、やはり小学校と中学校で異なることはあります。分科会で、それぞれで話し合い、その後、交流することで、そこから得て、自分の仕事に生かせることがあると思います。(この歳になってなんですが、私自身、小学校しか経験がないので・・・)
- ・小中別にしたことで、より深まった論議を行うことができました。
- ・小学校と中学校で分かれて話し合うのは、小学校ならではの話なども聞けて良かったです。中学校ではどんな事をしているのか知ることも大事だと思いますが、このような時間も実務に活かせると思いました。
- ・「保護者負担軽減」について、過去よりは金額が少ない金額になったとはいえ、全額学校負担するというわけにはまだ至って

ないというのが現状である。夏・冬休みの宿題については、自作プリントを作成して印刷するという考えがあったが、作成には時間がかかり、また大量に印刷しなければならないというコスト的な面で断念した経緯がある。

- ・ <働き方改革> ⇔ <保護者負担軽減> 難しい ←なんとなくわかる気がする。
- ・ 中学校部会は、中学校特有の話しのできたのではないかと思います。
- ・ とても有意義でした。次年度に向けての備品要望を実施する時に、グループ内だけでも「備品要望内容の交流」を実施していくと、効果的に旭川市に対して財政的要求ができるのではないだろうかと考えました。
- ・ 小中別に話し合うのは共通の話題を共有するのには有意義な試みだと思います。
- ・ 私の進め方がうまくいかなかった部分もありますが、小学校だけの話題はあまりなく、普段通りの交流となっていました。
- ・ とても話しやすかったです。少人数、小中、ときたら次の分け方は年齢、地区、でしょうか。
- ・ やはり他校と自校を比較すると「この費用はもっと削れるのでは？」という気持ちになります。PF シートが完成した後にも、実際に私費減額するための行程についても交流できたらいいなと思いました。
- ・ 中学校のみで話すのは初めてでしたが、中学校共通の話題がたくさんあり、楽しかったです。知りたいことも遠慮無く聞くことができて助かりました。
- ・ 小中別分科会は、これまでほとんど経験がないように思います。情報交換では、自分が発言する場合はもちろんのこと、ほかの参加者の発言に実感をもって理解できたことが多く、満足する内容だったと思います。
- ・ 小学校、中学校ならではの課題を交流できてよかったと思います。

### ●今後に向けて

- ・ 前々回の少人数グループに続いて、校種別グループでの研修活動に取り組んでみましたが校種特有の話題について気兼ねなく話すことができたという成果も見られました。(小学校では外国語活動にともなう大型テレビの納入、中学校では進路指導や修学旅行代金等) また、司会や記録・発表という役割をお願いしたことで経験という大きな成果もありました。
- ・ 次回の研修はグループ分けをせずに全員で話し合うスタイルにしたいと考えています。(昨年までと同じやり方です。ただ進め方や研修形態が同じでも、議論の深まりや活発さはものすごく成長しているのではと期待しています。)

### ●全体を通して研修会の成果

- ・ PF シートも大詰めですね。大変なのは、集約後、それをどのように分析し、課題を見だし、どのように解決策を考えるのか。日々の仕事も研修も PDCA サイクルの繰り返しで、より良い「学校事務労働」に繋がっていくと思います。レポートとしてまとめていかなければなりません、役員だけではなく、皆で考えていきましょう。
- ・ マズローの5段階欲求論、勉強になりました。成長欲求に変えていきたいと思います。また、私費会計実態調査の交流を通じて、自校の実態を客観的に見直すことができた。
- ・ 小中勤務校別に分かれて交流できたのは現在の事務実態について話し合う事ができたし、近隣校の事情も聞いて勉強になりました。
- ・ 若い方の発言が多くなったと感じました。・ 堅苦しい雰囲気が感じられなくなりました。
- ・ 毎回、意見交流ができることは、研修会に参加する意義として最も大切なことだと考えます。いつも自分では気が付けない視点を学ばせていただいていることが何よりの成果です。
- ・ 司会や記録を若手にしてもらおうというのは、今後の研修のハードルを下げる意味でも必要なと思います。そんなたいしたことではない。仲間うちだから別にそんなに気を使うことでもない・・・という感じで気軽に参加できる研修会になればいいかなあと思います。私なんか昔も今も全然成長してなくて恥ずかしいですが・・・
- ・ 経験年数の少ない方が活躍できたのが一番の成果かと思います。
- ・ 先輩方のリードもあり、若手もベテランも関係なく活発な交流ができたのではないのでしょうか。(若手が研修の空気に慣れてきたことありますが) 全体的に雰囲気が良くなってきたように感じます。・ 小中を分けて話し合うのもいいなと感じました。
- ・ 最後に小中別分科会で話し合った内容を、記録者に発表してもらうことにより、グループ全体で内容がある程度共有できてよかったと思います。司会者・記録者の皆さん、ありがとうございました。
- ・ マズローの5段階欲求説での自分の今いる場所が分かりました。

### ●今後に向けて

- ・ 研修の雰囲気がよくなったという記述が多くありました。研修を作る(良くする)のは進め方や内容の良さではなく参加者1人1人の姿勢だといえます。そうした意味でも若手をはじめとした会員各々の成長や全体の空気づくりを今後も継続して進めたいです。

## ●全体を通して研修会の課題

- ・限られた時間ですので仕方ないのですが、実践交流や情報共有などを考えるならば「学校間連携会議」のあり方からも開催すべきかと思えます。また、日々の実務についてももう少し交流できる手段（割り当てなど）を考えると、より有意義になるかと思えます。
  - ・時代の流れ、特に、法改正などが現実として学校現場に影響を及ぼしてくることを考えると、30分でも1時間でも良いので、そのことについて交流する場を設けてもいいかも・・・(私的見解)
  - ・私費会計実態調査を正確に行うために、記入方法の再確認が必要な箇所がある。クラブ・部活活動費(小学校)。誤った資料での議論をしてしまう。
  - ・PFシートの項目基準について曖昧な部分があったので統一できたら良いと思いました。
  - ・保護者負担軽減の取り組みをはじめ、様々な実践を通して、「学校には事務職員がいなければいけない」という意識をつくっていかねばと思います。
  - ・今後の全道事務研へのレポート作成・発表を考えると、グループ研修ではレポート検討委員の方々にも、ある程度の役割を担ってもらった方が良いでしょう。
  - ・どんな細かなことでも、どんなにありきたりのことであっても、どんなに基礎的なことであっても、一つの研修会で一つの発言を、参加している事務職員全員ができたなら、もっと多くのことを学べる場となると思います。
  - ・世代交代を意識しながら、いろいろ研修の進め方を試しつつ、PFシートの作成を通しながら父母負担の軽減について交流していくというスタンスで進めていますが今後は振り返りについては簡単に終わらせて時間もないので中身の検討を中心に行うてはどうでしょうか？
  - ・次回以降の研修をどう運営するかが課題かと思えます(ネタ切れ等が心配)。
  - ・(課題ではありませんが、今後できたらな～と思うこと)
- 各校の私費未納状況についても交流できる場所があればと思います。特に完納の学校、未納が極端に多い学校の比較(支払回数、方法、金額、就学援助など)ができれば各校の状況改善にも繋がるかもしれません。完納・未納の学校をモデル校として、グループ内でチームに分かれて研究したら面白そうです。
- ・分科会で話し合った内容をある程度共有できたらうえて、もう少しグループ全体で掘り下げることができれば、もっと良いと思うのですが、時間の制約もあり難しいかも知れません。
  - ・マズローの5段階欲求説の段階を上げることが自分にとっての課題なのかなと思いました。

## ●今後に向けて

- ・限られた時間の中ではありますが、保護者負担軽減のみならず多様な課題や話題があります。また研修内容も話し合い中心に進めていますがおほかの様々な手法も取り入れられるとより学びが深まるといえます。この振り返りのみならず、参加者の声や様子からも今後も進め方を工夫したいと思えます。

当日の満足度 回答平均 8.4

## ●その理由

- ・学校間連携会議は、その主旨から毎回実施すべき・・・と思ひ、マイナス1点。(9)
- ・グループ研修の進め方は良かったと思ひますが、役員だけに負担をかけているような気持ちで、マイナス1点。(8)
- ・研修会の持ち方の工夫、たくさんの資料、唯々感謝です。(10)
- ・話しやすい雰囲気での研修が進行されていたと思ひます。色々な意見が出る話し合いの記録まとめをすることの難しさを実感しましたが、聞き逃さないよう注意して聞けたし、自分なりに話し合いに参加できたかなと思ひました。(10)
- ・参加して良かったと感じたからです。(10)
- ・10ではないのは、自分自身、もっと頭の回転を速めて、多くの交流が出来たらいいのという反省からです。議事運営・課題提起・協議内容などそういった運営面では10点です。(9)
- ・仕事を行っていくうえでの考え方、考える方法は人それぞれ違ひていいし、これが正しいというのはないと思ひます。みんながそれぞれ考えるきっかけになるようなことを、自分もやってみようかなということをグループで気軽に話し合ひ中で今後見つけて行ければいいかなと思ひます。(8)
- ・遅刻したりバタバタしたりで開始時間を遅らせてしまい申し訳ありません。また、司会でもうまく進めることができなかったため反省の自己評価です。(6)
- ・全体の雰囲気も良くなり、交流もしっかりでき充実感がありました。せっかく役割を与えていただきましたが、うまくこなせず、結局先輩の力を借りてしまったことに対して、-1。全体としては10で！(9)
- ・面白く適度に緊張感があるので、時間が過ぎるのがとても早く感じました。分科会で話し合った内容をある程度共有できたらうえて、もう少しグループ全体で掘り下げることができれば、もっと良いと思うのですが、時間の制約もあり難しいかも知れません。(9)
- ・研修を進める上での資料等の準備が充実しており、素晴らしい研修でした。ありがとうございます。(10)
- ・分科会での自分の発表をもっとまとめられていたらよかったなと思ひます。(3)

## グループ研修会④振り返りシート まとめ

～研修と研修をつなぐPDCAサイクル確立のために～

平成30年11月9日

◎出席率：16 / 24 (2名勤務不要) 67%

◎振り返り 12回答

### ●研修の進行について(日時・会場、研修の進め方)

- ・久しぶりの全体進行でしたが、昨年と比べると無言の時間が少なく良かったです(発言がない間も、進行の木村さんがうまく繋げていただいたおかげか暗い雰囲気にならなかった)。円が小さくそれぞれの顔が見やすい・声が届きやすいなどの雰囲気も話しやすさを助長していたのかなと思います。
- ・どうしても時間管理が難しいですね。もし次、学校で研修を行えるなら(目安として)タイマーを使ってみたらどうでしょう。部活や体育で使うようなもの。「あと何分」を共有できると良いのでは。
- ・時間を少し越してしまいましたが、それは研修内容が豊富で知っておいた方がよい情報豊富があつての時間なので良いことだと思います。
- ・毎回、グループ長・副グループ長さんが資料の作成・提供をはじめ、上手に進めてくれていると思います。有り難うございます。
- ・盛りだくさんではありましたがよかったですと思います。谷口さんに第1グループの研修会の様子など聞けたらなお良かったかもしれませぬ。
- ・久しぶりの研修センターでした。研修内容が盛りだくさんでちょっと消化不良気味だったかもしれません。次回は少しでもみんなで話せる時間を確保するためにも30分早めて開始してはどうでしょうか？
- ・個人的には、会場費はかかりますが、学校外の方が落ち着いた研修が出来るのかと感じました。
- ・研修のすすめ方ですが、進行内容は良かったと思います。ただ、今回は内容が盛りだくさんでした。(私もしゃべりすぎましたが・・・)。そのような場合は、13時開始なりも検討してはどうでしょうか？
- ・大変に良かったです。
- ・時間内に終了しなければならないと思います。設定時間に対して研修内容がちょっと多かったかもしれませんね。
- ・スムーズな進行でした。特に事前準備がすばらしいと思いました。時間配分の調整が必要では？
- ・できれば、予定時間内に終われるような研修の順番を考えていただけるとありがたいです。開始を若干早めるというのはどうでしょう？
- ・資料の事前準備が行き届いており、司会の進め方も「心地よく」さえ感じました。そのおかげで、全体的に発言しやすく内容も充実していました。

### ●今後に向けて

- ・時間配分の点での課題がありました。次回以降、開始時間等工夫して研修活動を進めていきます。(タイムマネジメント)
- ・会場については研修センターはやりやすさを感じますが、今年は啓北中・東鷹栖中での研修会を開催して、小学校も行ってみたいという声があったので、次回は近文小をお借りします。

### ●全道事務研環流・交流、前回研修のまとめ・振り返りについて

- ・研修の翌日、管理職と給与勧告の話になりました。(知識の深まりができたかはともかく)予備知識としてあるとないでは話せることも大きく違うなと体感しました。若手が見逃しがちなこういった情報を解説していただけるのは、とてもありがたいです。比較的若手の多いグループということもありますし、**服務研修や法令研修なども今後あればうれしいです。**
- ・全道研の当日の流れやどのような話をされているのかが聞けてよかったです。
- ・全道研に行ったことがないので、研修会での話を聞いて、難しい話も多いかもしれませんが行ったらなるほどと思う話や面白いと思う話がきけるのだなと思いました。
- ・事務研環流…古小高さん、木村さん、谷口さんが詳しく説明してくれたと思います。
- ・全道事務研参加された方お疲れ様でした。還流報告もしていただいて、参加していなかった自分にとってはとても参考になりました。このような機会は大変ありがたいです。
- ・第1グループの全道研の研修の様子をきき来年度はどうなるのかなと思いました。古小高さんの環流報告や高橋さんの第5分科会の報告等、参加しなかったものにも全道研の雰囲気を少し味わえたような気がします。領域一辺倒の時代から全道研の様子も少しずつ変わってきているのですね？旭川は昔から「旭川」だから？といわれていたような気がします・・・
- ・若い会員の方の環流、わかりやすくて良かったと思います。おじさんわかりづらくごめんなさい。
- ・前回研修の内容を振り返ることはやっぱり大切ですね。欠席されている方もいますしね。研修もPDCAです。

- ・発表者の感想も聞いて良かったです。
- ・良かったです。全道研に行けなかったので、各分科会の様子がわかりました。次年度も継続して環流はやってほしいです。
- ・全道事務研に参加した方からの情報や、今回の停電に伴う各校の対応なども聞いて非常に有用だった。
- ・全道研の様子を紹介していただきとてもよかったです。せっかく資料を紹介していただくのですから、その場でいざかでも思いを述べていただけたらと思います。
- ・今年は遠方での全道事務研ということもあり、参加したくてもできなかった人も多かったと思いますので、還流の時間を設けて良かったと思います。年齢・若手の両者とも内容がわかりやすく、年齢構成を十分に活かした還流だったと思います。

## ●今後に向けて

・振り返り、全道研環流報告は大変好評でした。行った人も行けなかった人も環流報告をする・聞くことで得られる成果があるようです。次年度以降も環流報告を続けていけるよう引き継ぎます。ただ次年度は第2グループの問題提起なのでできるだけ多くの参加が期待されます。(札幌です)

## ●研修活動 (PF シートその他・加湿器編の交流・課題検討) について

- ・学年(学級)費がない学校が多く驚きました。自校は学年費の徴収あり、また使い方も定まってない?ようなので、一度揉む必要があると感じました。こうした発見や「帰ったらこれ、やってみよう!」と思える成果があるので、研修がとてもおもしろいです。
- ・加湿器カビ問題。加湿器のお手入れ不足になってしまうとカビがでてくるので、いいのか悪いかの。お手入れをしっかりと行っていればいいものだと思いますが誰がいつやるか問題がでてくるのが新たな問題だと思いました。
- ・現在の自校・他校の現状把握や実状交流(情報の共有)から、グループ内の学校徴収金の課題・問題点の整理と、その解決に向けたグループとしての取り組みの方向性について
- ・加湿器については学校ごとに整備状況がバラバラなことや、事務職員として設置するかどうかの考え方もバラバラだということがわかり、面白かったです。
- ・加湿器の交流は各校の様子がよくわかった。
- ・PFシートについては次回すべてを入力したあとどういったことを交流したらいいのか、グループ内いろいろな規模を比較すると見えてくる事もあるような気がします。またPFシートを完成するためにいろいろ学校の様子を調べることが、今年一年意味があったような気がしますし、保護者負担解消により関心をもつことのきっかけとなったと思います。
- ・加湿器の考え方、それぞれの意見交流が出来たことは、今後の検討資料になるので良かったです。こういう実践交流は、やっぱり大切です。
- ・各学校の状況や工夫しているところが参考になり、良かったです
- ・加湿器は、自校でも導入を検討し設置済学校の状況などを聞きたかったところだったので大変参考になった。
- ・PFシートを分けて段階的に完成していく所がすばらしいと思いました。(ぜひ取り組みたいです。)
- ・まず中心課題であるPFシートについて研修してみてもはどうだったでしょうか。
- ・PFシートを分割して作成し、それぞれの段階で各学校の課題や意見交流できたことは、大変有意義なことだと思いました。

## ●今後に向けて

・事前にとりまとめたデータや資料がきっかけとなって活発な研修活動につながっていることがわかります。限られた時間や回数のグループ研修会ですが、せっかく集まるのだからこそ事前準備等を工夫して様々なテーマ、課題解決を目指しましょう。

## ●H31 全道事務研レポート内容について

- ・何度読んでも、私には修正箇所は見つけれません…。まずはしっかり書いてあることを理解することから始めます。
- ・文面の中に「上司や部下ではなく」とありますが、2人配置だと上司と部下みたいな雰囲気だなどおもうことも少々あります。民間に入ったことがないので、上司と部下の関係がどんな感じだとかは分かりませんが…。
- ・レポートは若手事務職員からの視点も含まれていて読みやすかったです。
- ・レポート作成お疲れ様です。前回では時間が短く、説明が充分に聞くことができなかつたのが残念でした。
- ・時間がなくてその場で交流できず残念でした。
- ・どこをレポートの中心にすえたらいいのかなあ?レポート検討委員なのにわからない!ごめんなさい。
- ・レポート作成、お疲れ様です。グループのレポートですから、執筆者だけが抱え込まないでみんなで考え、良いものに仕上げてください。
- ・データが揃ってきて、良いレポートになると思います。
- ・時間があまりなく、十分な検討ができませんでしたが、まだ時期的な余裕があるので次回以降でいいと思います。
- ・一番、何を伝えたいのかがわかりづらかったです。(今年の発表はモチベーションを上げる事で⇒いい仕事ができ⇒

つかさどる仕事ができる。を伝えたかった)

- ・これまでの研修の歩みがよくわかります。これから進めていく研修の内容、具体的に全道へ伝えたいことに力点を置いて作られていけば、さらに良くなるのではと感じました。
- ・「世代交代」について前段で分かりやすくひも解いており、後半はグループ研修の実践の軌跡が記述され、全道的にも今後の世代交代に向けて、大きなヒントを与える内容だと思います。

### ●今後に向けて

- ・少ない時間だったためレポートの意図や構成等の説明を十分できず申し訳ありません。次回以降、時間を確保し検討いただければと思います。

### ●全体を通して研修会の成果

- ・毎回違う形で話し合いをもっていますがどの形式でも活発な議論ができていること、経験年数の少ないメンバーも理解が追いついてきたこと、など体感できた研修会だったと思います。また、今まであまり扱っていなかった法令？についてのお話を聞いたことも大きな収穫でした。
- ・少人数の場に限らず、全体の場でも話しやすい雰囲気になったと思います。
- ・第2グループの研修内容は、「研修」の域を超えていて「ブロック会議」に相当するものと感じています。各校の事務職員が学校徴収金業務に携わっているのか否かに関わらず、事務職員の視点での学校徴収金に係る実態調査から情報の共有、そして協議と、グループ全体として、保護者負担軽減の課題解決に向けた「事務職員の業務」として取り組んでいるように思えます。
- ・谷口さんから賛辞の言葉もあったとおり、これだけ質の高い研修会をグループ研修でできるのは大変レベルが高いことだと思います。
- ・グループほとんどの学校で同じ事を取り組めたことが一番の成果ではないでしょうか？参加できるときとできないときはありますし、期限付きの方や再任用の方か立場がいろいろいるなかで、ここまで一緒にやろうと同じ向きを向いて研修を進められたグループであることが一番の収穫であり世代交代期に必要なことでないかなあと思います。
- ・各学校一人ですし、各自、仕事に向き合うスタンスの違いはありますが、まず研修に参加しようとする姿勢が一番かな？と思います。
- ・2グループの良さは、若い世代からベテランまでいますが、話をしやすいところにあるのかと思います。
- ・意見交流が活発になってきて、グループ研が活性化してきましたね。
- ・データが出揃ったことで、PFシートとして自校の状況を見ることができた。これをもとに、より具体的かつ効果的な保護者負担軽減について考えていきたい。
- ・震災時の服務、加湿器の設置状況など、他校の状況がよくわかり、とても参考になりました。
- ・参加者が多く、開始から私以外のみなさんは揃い、充実していたと思います。
- ・意見交流が活発で、研修に参加しているという充実感があります。「一人一役、全員主役」がグループ全体に定着してきていますね。

### ●今後に向けて

- ・研修会を重ねるごとにグループの雰囲気が良くなっているように感じていることが振り返りから読み取れます。雰囲気が良くなっただけでなく、研修活動の充実も加わって現在の第2グループの研修会になっているようです。世代交代を意識した研修をテーマにレポートを執筆していますが、レポートのためのグループ研修会にならないようにしなければとも感じます。
- ・「研修と親睦」の第一歩はグループ研修会であればと思います。

### ●全体を通して研修会の課題

- ・今回顕著に表れたのが時間管理の問題だと思います。進行役が時間を気にするだけではなく、全員が意識できるように事前にどの議題にどれくらいの時間を割きたいのか、伝えておいてはどうでしょう。他にもタイムキーパーを置いたり、タイマーをセットしたり、決められた時間の範囲内で効率的に研修を進めていくことが大事かと思います。
- ・保護者負担軽減も大切だが、未納についての情報交換も必要だと思います。(未納が保護者の考え方が変わらない限りずっと残る問題だと思いますが・・・)
- ・時折、実務(事例)研修を織り交ぜると、気分転換にいいのかなと(勝手な考えで済みません)。
- ・今回は時間の配分の仕方でしょうか…
- ・次回は少し研修の分量をセーブして話し合いに時間をとれるといいかなあと思います。
- ・時間がもう少しあると良いと思います。折角の良い内容を考えていただいても、時間がないと中途半端になってしまうことあるので。可能なのであれば、その時の研修内容を勘案して、時間設定も調整して検討してはどうでしょうか？

- ・研修会が充実してきましたが、グループ長にかなり負担がかかっているのではないのでしょうか。
- ・せっかく参加したからには、何か話して帰りたいですね。経験年数少ない組がもう少し発言が必要ですかね？
- ・内容が充実していて、研修時間を少しオーバーしていても短く感じました。せっかく意見交流が活発になっているところを、時間だから突然「ここまで」とするのは、進行する側もやりづらいでしょうから、**時間の区切りの目安を事前に全体に周知する**とよいですね。

### ●今後に向けて

・タイムマネジメントに課題がありますが、保護者負担軽減のみならず多様な課題や話題があります。また話し合いや議論が活発になればなるほど時間はどれだけあっても足りません。進行等を工夫して時間内に収まるよう努力します。

### 当日の満足度 回答平均 9.4

#### ●その理由

- ・自分から発言はあまりできませんでしたが、学びが多く充実した研修でした。(9)
- ・全体場で発言(少々ですが)できたので、8です。あと、内容を頭の中で整理できていなかったところもあったので、-3で7にしました。(自分自身の問題)(8)
- ・今回も、参加して良かったと感じました。(10)
- ・時間が足りなかったことを加味しても満点の内容だったかと思います。(10)
- ・ちょっと欲張りすぎた気がします。グループ長の負担も重すぎる気もします。もう少し手を抜いても大丈夫。みんなで研修を作りましょう！(9)
- ・時間を長くしてしまった自己反省で。(9)
- ・毎回沢山の資料の準備、唯々感謝です。(10)
- ・時間内に終了できなかったので-1。研修内容が多いなら、開始時刻をもう少し早めたりしてもいいと思います。(9)
- ・時間を効果的に使えるよう、努力したい。(10)
- ・楽しく参加させていただきました。ありがとうございます。個人的には、時間通りに終了すれば10でした。予定通りに時間配分し終了する事も、運営側の大事な仕事だと思います。(10)
- ・良かったと思います。数字にするのはちょっと難しいのでごめんなさい。
- ・次のグループ研修も楽しみと思わせる内容でした。(10)

# グループ研修会⑤振り返りシート まとめ

～研修と研修をつなぐPDCAサイクル確立のために～

平成30年12月7日

◎出席率：18 / 24 (2名勤務不要) 75%

◎振り返り 回答 8

## ●研修の進行について(日時・会場、研修の進め方) 課題(改善事項)：タイムマネジメント

- ・研修が1時間半と短い割にやりたいことが多く、タイムマネジメントの成果を感じることはできませんでした。「今後時間を気にしましょう」という意識の共有ができた回ですね。
- ・個人的には、声が届かない方がいて残念でした。相手に聞かせる、というのはコミュニケーションの第一歩だと思います。それぞれが気にしていかなければならないことではないでしょうか。
- ・予定とは変わってしまいましたね。しかし、今回のスケジュールではこのような臨機応変な対応でよかったのではないのでしょうか。
- ・よかったです。お疲れ様でした。
- ・今回はタイムマネジメントを課題にすえての研修でしたが終わりが少し気になってしまいましたね。時間があればせっかく近文小に来ていただいたので校内回る時間があればよかったかななんてあとで思いました。
- ・勤務態様の関係で時々しか参加できないが、今回は細かな時間設定がはっきりしていて良かった。
- ・会場が変わるので、気持ちを新たに研修会に参加できます。
- ・時間の制約があった中で、グループ長・副グループ長さんが上手に進行されていたと思います。
- ・改善：これだけ内容が濃い研修なので開始時刻を早めてもよいと思いました。
- ・研修の最初に大まかな時間を設定することによって研修の流れがわかりやすいと思いましたが、なかなかその通りに進めるのは難しいものなのだと感じました。

## ●今後に向けて

- ・時間を意識しながら研修を進めることができたのは成果です。上手くいかなかったことも含めて次回以降も引き続き取り組みたいです。
- ・せっかくの学校会場なので、校舎見学などもできるとより深い研修になるかもしれません。
- ・表現力というのは何を話すかだけでなく、相手にどう伝えるか、伝わっているかも含めて高い表現力と言えます。声の大きさや表情も表現力と言えるのではないのでしょうか。

## ●前回研修のまとめ・振り返りについて

- ・今更ですがまとめ・振り返り資料の質に感動します。毎回このような素晴らしい資料の用意と進行をしてくださる木村さんに感謝です。前回の振り返りで多く出た「タイムマネジメント」について今回改善策を講じたことで、目に見える形で「振り返りの重要性」が現れたと思います。あとは反省が活かされて改善に進めていけば、PDCAサイクルを実感できますね！
- ・タイムマネジメントの必要性が感じられました。
- ・記録のフィードバックは重要なことと思います。
- ・前日が連携会議だったこともあり、留保額がどうなるのかが心配ですね
- ・私だけかもしれませんが、結構忘れてしまっていることが多いなと感じています。
- ・今回、初めての研修参加となりました。司会進行がスムーズでとてもよかったです。また、資料の準備(少しトラブルがありました)など手際がよく良い研修と思いました。(カラー印刷はやっぱりいいですね。次年度は自校でも入れてみようか検討します。)
- ・前回研修で話題になった手回しラジオを実際に見せてもらって参考になりました。

## ●今後に向けて

- ・前回どんな研修をしたのか、成果や課題は何だったのを確認することは欠席者はもちろん、出席者も忘れていることがあります。勉強と一緒に振り返り(復習)の大切さを感じます。研修や仕事のやりっぱなしにならないように個々人も組織も心がけましょう。

## ●研修活動（PF シート交流・課題検討）について

- ・交流は難しいですね。それぞれの発表に「そうだよな～大変だよな～」という感想は持てても、打開策が出てきません…。特に小学校は自分に経験が無いためさっぱりです。
- ・課題検討は規模別の少人数（3～4人程度）で深く掘り下げ、その後全体交流の方が個人的には成果を感じます。残り回数は少ないですが、チーム分けをして「課題設定」「課題に対する改善策」「実践（もしくは実践シミュレーション）」してみても効果・反省についてそれぞれ時間をかけて検討するのは？各グループの交流もしっかり行えば「現任校では反映できないけれど見識を広げる」こともできるはずですよ。
- ・各校の課題を共有できました。実際シートを作ってみてどなたかも言われていましたが、保護者負担軽減を深く考えるには徴収金のもっと細かい部分の交流も必要かなと感じました。
- ・自分の中で視点が定まらず、難しかったですが、皆さんの発言を聞いているうちに、より具体的な個々の検討が必要だと感じました。確かにPFシートはきっかけなのですね。
- ・PFシートに関してはこのシートを作成するために学校内のお金について事務職員が関心を持ったというのが一番の成果だと思います。保護者負担の軽減に関しては学校の学級数や児童数により違いがあり、他の学校と比べてみてもどうなる事でもないように思います。保護者の負担する金額が少ないほうがいいのはわかりますが、結果的に単純に集金する金額が少ない方がいいというわけでもなく最終的にはその学校の子供をどう育てるかまで、学校全体で話し合わない根本的な解決にならないような気がします。440人ぐらいの子供をかかえる学校では公費で何かを負担するというのは難しいことです。一人一人自分の学校の課題を整理できたのは今回の成果としていいのではないのでしょうか
- ・項目1～9および10～14の項目欄に正しいデータが入力されているかの確認。比較検討する中で市費負担軽減につながることはないかを探してみる。
- ・資料の作成有り難うございます。自校の実状の把握と、各校の情報交換ができました。
- ・保護者負担軽減に向けて、自校での今後の具体的な実践（行動）予定について交流があればいいな。
- ・公費の増額が見込めない現状では、効率的な公費執行についての課題や工夫の共有も必要と感じました。
- ・自校と比較できるところが2～3校というのがわかり、参考にしたい、聞いてみたいなあと思ったところがPFシートの良い部分と感じた。ただし、比較対象が多くなると単純に比較することが難しいということがわかった。これが「PFシートの欠点なのかな？」と感じた。
- ・完成したPFシートを見て、どこが重要な部分なのか、どこを他校と比較したらいいのか自分自身あまり読み取る事ができなかったのでもっと深められたらいいなと思いました。

## ●今後に向けて

- ・PFシートは私費の大まかな全体像をつかむ上では意義深い手法の1つかもしれませんが、今後はここからどう深めるか、課題を探していくかという想像力や判断力そして表現力が欠かせません。数字から見える部分・見えない部分をどう保護者負担軽減に結びつけていくかを今後の研修活動や業務で知恵を出し合って進めていきましょう。

## ●H31 全道事務研レポート内容について

- ・難しそうなお話かと思っていましたが、読んでみると「いつも木村さんが大事だと言っていること」が様々な根拠のもと詳しく書かれているんですね。「地教行法」「中教審」など知らない単語にひるみながらも、調べながら紐解いていくと近年の学校事務を取り巻く動きがよくわかり勉強になりました。こういうタイミングで若手なりに読み込み、法令や組織などの知識を深めることもひとつの研修参加かな、と思います。
- ・2月のプレ発表が近づいてきましたが、グループみんなレポートを完成させましょう！
- ・次第に積み上げられている印象を持ちました。今後も、より伝えたいことを研究の経過、結果としてではなく、提起としてレポートに表現し、それをもとに研修の中で意見交換し、まとめ上げていくことが必要かなと思います。
- ・レポートで一番言いたいことをグループのみんなに今回のグループ研ではっきりすることができたのではないのでしょうか。すごいレポートの量になりそうですね？
- ・第2グループのPFシートから見える課題や成果は後藤さんの実践成果や課題と違いがあるのかなのか？が表現できれば良いと思う。
- ・思いが伝わる素晴らしいレポートと感じました。しかし予算の関係上、文章量を削らなければならないというのは悔しいところだと感じております。
- ・私には直した方が良い部分とか見つけることができずに申し訳ないのですが、若手にもわかりやすい内容だと思います。研修の中でレポートについての話を聞きたいです。

## ●今後に向けて

- ・次回の研修会はレポートについて詳しく説明します。

## ●全体を通して研修会の成果

- ・他校のPFシート考察を聞く中で、「**自校でも検討案件かも?**」と思うことがありました(うちも卒業式の祝餅あります)。自分だけで考えていたら気づかないことに気づけるのが、**グループ研修の醍醐味**ですね。
- ・各校のPFシートが完成できたのが大きな成果だと思います。**全校児童生徒が多い学校ほど公費負担の割合が低くなる傾向がわかりました。**
- ・全体を通し密度の濃い研修が行われているように感じました。
- ・今回は出席者全員が一言ずつでも自分の学校の事について発表できたのは良かったのではないのでしょうか
- ・PFシートに関しての各校の説明ということで、研修会が少々重たい雰囲気に包まれていた様にも思えましたが、皆さんきちんと説明されていたこと。
- ・PFシートは参加校が多いと**学校によってはかなりの違いがあることから単純比較できない**ということがわかりました。しかしPFシートを通して、自校と比較できそうなところも、またわかるというものだと感じました。比較的同じようなところと交流というのはどうでしょうか?
- ・**毎回少しずつデータ入力してきたPFシートが各学校で完成できたこと。**

## ●今後に向けて

- ・雰囲気がよくなる(組織づくり)と発言する力が養われる(人づくり)という大きな二つの成果があるのではないのでしょうか。

## ●全体を通して研修会の課題

- ・PFシートについて、ただの交流で終わってしまった点が残念でした。次々回、またPFシートについて話す機会がありますが、事前にテーマを設定して各自話すことを考えてきてはどうでしょう。(特に若手が)ぱっと資料を見てさっと話せるようになる練習も重要とは思いますが、今回のように「**ただ話して終わったなあ**」という研修は個人的に好きではないので、交流した上で今後どうすべきかを検討できる研修になればいいと思います。
- ・完成させたPFシートをどのように活用していくかですかね。
- ・研修や交流を行う際に、どのような視点や意識をもって臨めるかによって、フィードバックの大きさが変わるような気がしました。
- ・いつも時間に追われているので次回はレポートについてのみの研修なのでみんなでじっくり考察できるといいと思います。
- ・**事務職員としての視点で、保護者負担軽減への具体的な実践に向けた交流にすすめることができれば良い**と思います。
- ・上にも記入しましたが、せっかく皆さんが作成したPFシートなので、学校規模が同じところ同士でなにかしらの交流がしたいと思いました。(具体的な考えはないけど・・・)
- ・PFシートが完成したので、次の段階で中身についてもう少し考えられたらいいと思います。

## ●今後に向けて

- ・PFシートが完成して終わりではなくここからがどのような課題を探求するか、保護者負担軽減に結びつけるのが大切だと言うことが共有できたようです。

## 当日の満足度 回答平均 9.0

### ●その理由

- ・今回私が遅刻してしまい、また研修時間が短く戻すばかりで研修の成果を感じるできませんでした。きちんと落ち着いた状況で参加しないと、せっかく質の高い研修に参加しても持ち帰れるものが少ないと、身をもって感じました・・・**良い研修を作っていくためには資料や進行はもちろん、それぞれの意識が重要**なのです。(6)
- ・予定していたレポートの交流ができなくて残念でした。(9)
- ・自分の臨み方は十分ではなかったかなと反省しています。
- ・いつも思うのは研修する内容がいっぱい、**なかなか雑談?する暇もない??**(若い頃は雑談が一番楽しかった記憶があります)レポート作成をかかえているので仕方ないですね。(9)
- ・**若い事務職員が気兼ねなく発言できる雰囲気**が出来てきている。(10)
- ・今回も研修会に参加して良かったと感じたからです。(10)
- ・限られた時間の中、これだけの準備・運営お疲れ様です。ありがとうございます。(10)
- ・自分の中でPFシートの中身についてあまり整理できなかったことと、時間設定通りにはいかなかったので-1にしました。(9)

# グループ研修会⑥振り返りシート まとめ

～研修と研修をつなぐPDCAサイクル確立のために～

平成31年1月4日

◎出席率：18/24（2名勤務不要） 75%

◎振り返り 回答 7

## ●研修の進行について（日時・会場、研修の進め方）課題（改善事項）：タイムマネジメント

- ・研修センターは落ち着きます。（経費がかかるのが難点ですが…）
- ・間延びも無く、あつと言う間に時間が経過してしまった。木村さんご苦労様。
- ・検討事項はまだまだありそうでしたが、時間内には終われました。
- ・タイムマネジメントという観点では、申し分ないと思います。会場は、上川教育研修センターが慣れもあるのか落ち着きます。他の学校などを利用する際は、その会場を利用する理由付けをしっかりと行うことが必要かと思えます。
- ・グループ長さんを中心に上手に進行していたと思います。

## ●今後に向けて

・今年度は学校、研修センターと会場を工夫しながら、研修活動を行うことができました。各会場それぞれに善し悪しがあります。学校を会場にする場合は施設見学などのアクティビティを設けても研修内容の充実がはかれます。研修内容や進行の工夫で日常の自校業務では得ることができない視点や価値観に触れることができる貴重な機会になるよう全員で意識していきましょう。

## ●前回研修のまとめ・振り返りについて

- ・いつも資料として事前にいただきありがとうございます。担当は大変だと思いますが、振り返りは大切だと思います。歳を取ると余計に忘れっぽくなってしまって（自己反省）
- ・毎回研修のまとめがあってありがたいです。今後の研修にもつながります。
- ・2回連続で欠席してしまいましたので、まとめを行っていただけるとは大変ありがたいです。

## ●今後に向けて

・欠席者はもちろん、参加していても忘れてしまうことが多くあります。記録をすること、振り返ることを通じて研修部が意図した積み上げる研修活動や各々の知識の充実、意識の変化も感じることできるので非常に効果的でした。

・全ての振り返りのまとめを基に次年度の課題の方向性を探ることができそうです。

## ●H31 全道事務研レポート内容について

- ・レポート作成お疲れ様です。伝えたいことを書いていくとどうしても文書量が増えていくことはよくわかります。もう少し早い時期にお伝えすればよかったのですが、この時期になって体裁などについて出しまい申し訳なくも思っています。個人レポートではありませんし、ひとりで考え続けると抜け出せなくなるポイントが出てきます。レポート検討委員だけでなく、グループ会員みんなで創り上げていくものですので、遠慮無く、こき使ってください。
- ・旭川では、旭事協・学校間連携会議・旭教研行財政部会の組織を通じ、また、第2Gでは全員が主役となる研修会開催のために様々な工夫や取組をする中で研修の活性化を図る取組を進めている。「世代交代よりも学校事務が変わろうとしている中で実際に取組んだことをレポートすればよいのでは？」
- ・まとめご苦労様でした。指摘のあった文面の整理をすれば、課題・成果が明確になり、わかりやすい報告になるかと思えます。
- ・ご指摘のあった通りかと思えますが、未完成的な部分があるので、内容をまとめる作業は完成後に行ったほうがやりやすいのかなと思えました。内容的にはいい内容だと思うので、まとめ方が大事だなと思えました。
- ・予定しているグループ研修が全て終わっていない中、まだわからないことや終わってから見えてくるところがあるかと思えます。それに伴い、レポートが変わってくるかと思えます。頑張りましょう！
- ・途中で見当違いなことを述べてしまい大変ご迷惑をおかけしました。今後も勉強させていただきます。

## ●今後に向けて

・伝えたいことが多く文章が多くなってしまいました。まず読んでもらえるという大前提のために、省けるところ、段落構成、文言等体裁を整えていきます。レポートの柱がだれもがわかるように表現できればと思います。

## ●PF シートおよび各調査から見える次年度以降の課題および研修内容についての考察・要望

・PF シートは、財政財務活動の手段のひとつです。でも、AI 化できない学校事務職員としての実践でもあります。今年のグループ内の PF シート結果を、本校の次年度の保護者負担解消の参考資料とさせていただきますと考えています。

次年度は、今年のこの結果を受けて、どのように改善をはかっているのかについて議論するとともに、同様の調査を行うなど、継続したとりくみを行うことが大切だと思います。グループ研修として取り扱うかは検討事項ですが、各自が継続できるように提案されてもいいのではないのでしょうか。

・それぞれ数字はうめてトータル額は間違い無いと思われるが、入れるべき項目や数字の中身が明らかにならないと、保護者負担軽減や教育環境の整備や改善にはつながらない。今後の PF シート研究・活用が重要になる。

・配分予算について各校でより詳細に考えるきっかけになりました。来年度、消費税値上げ等もあり、来年度の予算作成・学校徴収金の項目について、精査し父母負担軽減が可能か検討したい。

・マクロ目線からよりミクロ目線で交流したいと思うことがありました。例えば学年費であれば徴収内訳を交流するなど。

・比較的同じデータの学校で意見交換等（ただし、同じような学校がないところがあるので、そこをどうするかが課題）

・保護者負担軽減を効果的に実施するためには、多くの学校の PF シートを見て客観的に判断する材料を増やすことが欠かせないと、強く感じました。

・具体的な保護者負担軽減に向けての各校の実践（学校徴収金と市費予算の執行等々）ができれば。

## ●今後に向けて

・次年度は今年度の研修活動の中であげられた課題や検討事項をいかに掘り下げるか、また各校での具体的な実践例を交流できるような研修活動案を提案できればと思います。

## ●全体を通して研修会の成果

・研修課題としていなくても、レポートの内容を全員で確認することで学ぶことができました。経験を積むほど、忘れがちとなっていることを振り返ることもできたと思っています。

・振り返りシートを使用することで前回までの流れが分かり研修の継続がスムーズに進むようになっている。（代表の負担は大きい）経験の浅い事務職員にとってはとても良い研修の進め方だと思う。

・半分しか参加できていませんが、資料等のおかげで研修の様子がわかり、大変ありがたく思っています。

研修のまとめの時期になりましたが、進めていく中で明らかになった課題（教育環境の整備・父母負担軽減—予算との関係や規模の関係はありますが）について、各学校で来年度に向けて、少しでも改善していくことができれば成果かなと思います。

・レポートを全体に見てもらい、全体場で検討できたことはよかったですと思います。

・意見を話しやすい研修会となっていることが、成果だと思います。

・高買さんの実務研修が、頭を和らげてくれました。

## ●今後に向けて

・レポート 1 本でのグループ研修会でしたが、高買さんの実務資料提供などもあり、良い雰囲気で行えた。

・保護者負担軽減と全道レポートという 2 つの異なる活動を同時に進めている難しさもありますが、実践的な課題と理論的なテーマの相互から様々な事を得て、感じることができました。

## ●全体を通して研修会の課題

・グループ役員の頑張りには感謝しかありませんが、その頑張りが属人的なものとならないようにし、誰もがグループ長を出来るようなグループ体制づくりが大切だと思います。みんなで出来ることはやりましょう！

・若い世代に引き継いでいくためには、若い人たちの意見や質問が多く出てくることで成果も多くなると思う。「研修会のまとめ」や「振り返りシート」の取組をして何でも言える何でも聞ける雰囲気づくりは進んでいるが、若い世代の声や意見が少ない。

・レポート検討委員ですが、検討委員会の検討の甘さがあったかなと思いました。

・レポートは難しいものだと毎回思います。研修前にレポートは熟読しておくべきかと思いました。

・今回のようなグループ研修（少々重たい内容）でも、参加者が自分の意見を言い合える雰囲気や意識がもう少し必要なのかなと。

## ●今後に向けて

・若い世代が声を出しやすい、意見や感想を話しやすくするためには進行の工夫が不可欠だと感じます。前半の研修会で少人数での討議や役割分担という手立てを活用しましたが、全員での活動の際も単に投げかけるだけでなくより具体的な内容での問いかけなどができれば良かったと考えます。

●その理由

- ・レポート校正・・・もっと早くにお伝えしようと考えられなかった自分への自己反省で（-2）（8）
- ・若い世代が取り組んだレポートとても素晴らしい。（8）
- ・前回研修会のまとめ,全道事務研レポートの説明ご苦労様です。研修も最終段階ですね。もう少しですのでよろしくお願ひします。（10）
- ・もっと早くから全体でレポート検討できていればと思いました。（9）
- ・レポートに関してグループ長がたいへん苦勞していたため、負担がグループ長ばかりいくのは、どうかなあと思いました。なので、今回の研修に臨む自分自身にとっても残念だと感じています。（8）
- ・9です。いつも、しっかりとした意見を述べられないことに,反省ばかりです。（9）
- ・私自身の意見交流への参加が少ないと感じたから。（6）

## グループ研修会⑦・今年度の研修活動振り返りシート まとめ

～研修と研修をつなぐPDCAサイクル確立のために～

平成31年1月30日

◎出席率：19 / 24 (2名勤務不要) 79%

◎振り返り 回答 15

### ●研修の進行について(日時・会場、研修回数、研修の進め方)

- ・最後の研修会ではタイムマネジメントを意識しながら進めてくれたので、研修内容がよりわかりやすかった。
- ・研修時間等がどうしても足りないと感じるなら、長期休業中などに一日日程の研修なども企画してもいいかもしれません。
- ・会場に現場の学校をあてたのはとても良かったと思います。
- ・時間配分・進め方ともに良かったと思います。
- ・時間管理、ぴったりでしたね(^\_^)v 最後すこしオーバーしましたが、櫻井さんの実務研修が非常に面白かったです。
- ・1年間を通して、「うまい進行の技術」を見せていただきました。木村さんのやり方が全てではありませんが、特に若手は良い経験をさせていただいたと思います。やみくもに当日を迎えるのではなく、事前準備の重要性も身をもって知ることができました。来年度以降はそれをグループ長だけに任せるのではなく、自主的に動く人が増えればより良い研修になるのではないのでしょうか。私も頑張ります！
- ・久しぶりのグループ研修でしたが、今年度の研修は充実していたと思います。時間が足りなくなるくらい充実していたということではないのでしょうか。研修会場は、会場費はかかりますが、個人的には研修センター等の公施設がいいと思います。若い方もいらっしやるので、実務研修がもう少し充実してもいいかな・・・。
- ・最初は時間通りに進まない事もありましたが、回数を重ねるごとに研修を進める方々の工夫で時間通りに進行されていて、最後は時間が足りなかつたり余つたりすることが無かったと思います。
- ・今年度は会場が学校という回の研修もあり、昨年度とはまたちがった雰囲気で行えたと思います。以前の振り返りに記載もありましたが、学校開催の場合、時間・都合があれば学校見学も行えたらと思います。
- ・研修の進め方にはご苦労されているかと思いますが、工夫されている印象ですし、今後の構想も、最後の研修の時にはいろいろと話が出ていましたので、やってみるといいかなと思いました。個人的な意見を言うと、なるべくたくさんの方々の意見を吸収したいと思って研修に参加するので、全員丸座形式で聞き耳をたてる感じが好きです。話すのが苦手な人からもうまく考えを引き出せるといいですよ。
- ・研修会数が予定より1回増えましたが、全道レポートのためということでもよかったと思います。研修の進め方については慣れもあると思うので良かったと思います。
- ・他校を訪れることができよかったです。
- ・グループ長を中心に進められ、全員参加の素晴らしい研修会だったと感じました。
- ・回数も適当であったと思います。
- ・会場も学校を使わせてもらうなど工夫に富んだもので、色々な空気の中で行えたこともプラスになったのではと思いました。
- ・良い。時間内にまとめられたように思います。
- ・学校を会場として行ったのも良かったです。
- ・研修会の時間や回数もちょうど良かったのではないのでしょうか。
- ・全く申し分ありません。期限付き職員から正職員になりはじめてのグループ所属となりましたが、PFシートを用いた交流実践や、意見交流などを通じ、数多くのことを学ばせていただきました。
- ・今回のグループ研修会は、終了時刻をはっきり明示して、時間調整を上手に行いながら進めていただいたと思います。
- ・毎回、終了時刻をはっきりさせることで、話しが脱線することが無かったように思えましたし、参加者としても限られた時間内で集中することができたと思います。

### ●次年度に向けて

- ・日時、会場は今年度の計画をベースに進めていけるのではないかな。
- ・課題が多く、協議時間を確保するために開始時間や研修日をより工夫することができたら良い。
- ・研修の進行は、時間を意識しながらも内容が深まるよう全員で意識を共有できれば次年度より良い研修活動が期待できる。

## ●研修活動の手立てについて（アイスブレイク、グループ討議、振り返りシート、調査事前集約・配布等）

- ・ぜひ次年度以降も継続してやってほしいです。
- ・今年の流れは今後の活動の手立ての大きな参考となると思います。
- ・振り返りシートの重要性は大きかったです。実際の研修では時間の都合もあり全員の発言は難しいですが、振り返りシートが全員の発信の場として活用できたと思います。前回の振り返りシートが次の研修で配布されることで、「きちんと反省を活かそう」という意識も共有できたのではないのでしょうか。せっかく PDCA の意識が根付いてきたところですので、来年度もぜひ継続をお願いします。
- ・少人数（4～5人）での討議はとても面白かったです。それぞれの口数も多くなりますし、ちょっとした疑問も発言しやすく、また全体の間ではあまり話せない方と話せたことも良かったです。来年度はデータをもとにしっかり考えゴールに近づいていく行程ですし、密な話し合いがより必要になるのでは。来年度も同様の場を設けていただきたいです。
- ・きめ細やかな事前資料、役員さんは大変だったかもしれませんが、とても良いと思います。
- ・次年度以降も継続出来たら良いのではないのでしょうか。
- ・色々な研修の方法を実践し勉強になりました。アイスブレイクは研修の最初にやる事で、緊張もほぐれて特に2グループのように年齢差や経験差が大きいと効果も高いと感じられました。
- ・グループ討議も少人数でやり分け方を工夫したり、様々な方法がありそれぞれに良い所があると思いました。
- ・グループ討議は大人数の前での発言を苦手とする私にとってはとても発言しやすい環境でした。来年度もグループ討議があるととても良いかと思われます。（毎回ではなくとも2回に1回など）
- ・アイスブレイクはみなさんととても楽しい表情で、緊張をほぐすという目的に効果的だと思います。ただ、立って移動していたので少し広い場所のときに行えるとよいかと思ひます。
- ・アイスブレイクは初体験でしたが、雰囲気が良くなって効果的でした。振り返りシートや事前集約などは作業が多くなりますが、その分得るものは大きいと思うので今後も継続できればと思います。
- ・いろいろな形の研修を体験することができました。
- ・その時参加するだけではない形の研修が、事前事後に及び、1年を通じた活動になったことで、研修会を身近に感じ、参加意識に変化があったと思います。
- ・アイスブレイクは面白い取組で参加された方の打ち解けられる雰囲気づくりにも役に立ち、良い研修になったと感じられました。
- ・振り返りシートの活用も職場に戻ってからの本当の振り返りにもつながり良かったと思います。代表のご苦勞に感謝です。
- ・運営する側はたいへんだと思いますが、飽きがこず面白い研修だと思います。
- ・毎回、沢山の資料を準備していただくとともに、研修のまとめを作成していただきました。また、発言しやすい環境も整えていただき、充実した研修をすることができました。
- ・アイスブレイクは、人間関係が確立できない状況であるとき、とてつもない効果を発揮するのだなと考えさせられました。グループ討議では多くの方と意見を交換することができ、学校運営での客観性の確保に大変役立ちました。調査の自選集役と振り返りシートは、PDCA サイクルの確立のため、大変有効でしたし、2回欠席しましたがそのときに、それまでの協議の流れを確認することができるという意味で、大変ありがたく思いました。日常の学校事務において、「振り返る」「事前に頭を作っていく」という思考を、鈍らせることなく意識するきっかけとして、とても素晴らしい「手立て」だったと、そう考えます。
- ・調査事前集約・配布については、グループ役員さんに多大なご負担をお掛けしたことと思ひます。有り難うございました。
- ・参加者にとっては、毎回持参する資料が少ないことはとても有り難かったですし、毎回手元に資料があったので効率よくグループ討議ができたと思ひます
- ・「振り返りシート」では、研修会の復習(?)と、自分がその研修会にどのように関わったのかを自己診断することが出来ました。また、次回の研修会でも「振り返りシート」があるので、前回の研修会の反省を踏まえて研修会に臨むことができたと思ひます。
- ・アイスブレイクについては、私のような頭の固い人間には少々戸惑いを感じるものがありましたが、スムーズに研修へと入ることが出来たように思えます。

## ●次年度に向けて

- ・振り返りシートの記入、提出、集約、周知は手間がかかるが研修の改善や蓄積の成果が期待できるので、継続してはどうか。
- ・雰囲気づくりや発言のしやすさなども考慮しグループ討議など適宜取り入れ活発な議論ができるよう工夫してほしい。
- ・資料の集約、配布を工夫し協議の活性化に引き続き取り組むべき。

## ●グループテーマ（保護者負担軽減と教育環境整備）の成果と課題

- ・研修部からの推進テーマをグループの実態に合わせた形で推進していったので、非常に良かった。
  - ・課題はグループ長、副グループ長にかなり負担がかかっていたのでグループの会員がもう少し協力して、研修会の運営ができればいいと思います。
  - ・簡単に成果は出せないと思いますが、やはり交流することによって先は見えてくると思います。
  - ・「来年度以降の土台ができた」ことが成果の一つですね。動き出すには材料が少ない、現状が精一杯でこれ以上の改善は難しいという声もありますが、「すべての学校で現状を把握できた」ことは今後の動きや個人個人の考え方に大きく影響してくると思います。
  - ・来年度は「最終的にどのようなゴールに向かっていくか」を明確に定め共有することが大事かなと思います。今年は良くも悪くもグループ長が導いてくれている部分が多かったので、全体で道筋を決めていってはどうでしょう。
  - ・学校事務職員として、このテーマは必要不可欠。PFシートは、手段のひとつであり、この資料から、次のステップを考えていくことも必要だと思います。
  - ・今回のグループでの実践をもとに、個々が、今後も実践としてとりくみ、連続したデータとして分析・活用・改善等に生かしていければ良いと思います。
  - ・PFシートを作る事によって自校や他校の現状を見ることができたのが成果だと思います。ただ私自身がそこから問題点を見つけ、次にどうするかまで考えられていないので今後活かしていきたいです。
  - ・PFシートを活用し他校と自校を比較することができた。また、比較したことで自校にとって最適な徴収金額、執行内容を見直すことが来年度の課題だと思います。（自校では今年、来年度の一部徴収を見直しました。ですが、結果的に部活動に入部している家庭の負担が増えました。これは軽減といえるのかは定かではないですが。）
  - ・PFシートを作成して学校の課題が明らかになるかは定かではありませんが、全体の徴収金を把握できたことは、大きな収穫だと思います。これをきっかけに学校徴収金について学校全体で考えてもらえるよう働きかけるつもりです。来年度も研修で扱っていただけるなら、学校ごとの取組状況や、変更するに至った状況など詳しく聞いて参考にしたいです。
  - ・4人1組や小・中別の協議など、様々な形態での研修が行われたため、研修の幅が広がったように思います。
  - ・具体的な成果としてはそれぞれの学校でPFシートが完成され、それが合わさって第2グループとして何年も保存できる貴重なデータが完成されました。
  - ・PFシートの活用の仕方、教育環境整備のテーマ探しが課題。→個人的には考えは少しあります。
  - ・PFシートの研修は初めてやってみて、みんなでやることでやってみる気になれたし、交流することでいろんな気づきがあったのでよかったです。
  - ・とても暑い中での環境整備、改善の話題では、交流の中から学校全体の課題として取組等の声もあり、また、保護者負担軽減でも有意義な交流が出来たと感じられました。
  - ・ただ残念な点は、2グループの皆さんが異動により変わってしまい今年度の研修の成果をどう活用できたかを検証する機会が薄れてしまうことです。
  - ・継続していく課題はあるかと思いますが、マンネリ化などの懸念があります。かといって、新しいことがあるかといえば、特にないような・・・。（共同学校事務室についてとか？）
  - ・教育格差が広がる中、子どもの学習権保障・教育環境の整備は、事務職員にとって大きな課題です。
- PFシートで他校の状況を、知ることができた。
- ・校費予算が減額される中、どのように父母負担軽減・教育環境整備・学習権の保障をするのか、課題です。
  - ・保護者負担軽減は、旭川では当然の流れであることを、日常の業務から自覚していましたが、改めてPFシートや他の学校の状況を交流の中で知るに依り『いずれ保護者負担軽減にも限界が来る』ことを痛感するようになりました。学校予算の配当が減少することが明らかになか、今後は『保護者負担軽減を維持するための、学校予算管理の効率化』という観点で、少しでも考えを深めなければと考えていますし、今後の課題ともなると考えています。教育環境整備についても、毎年の備品配当要求時に、教員との交流を深め、その備品を要求するに足る根拠をしっかりと教育委員会に示し、少しでも子どもたちにとって最良の教育環境を整備していくという気構えが、今後更に必要だと考えました。
  - ・次年度以降も、『保護者負担軽減と教育環境整備』は継続して考えていく必要があると思います。
  - ・各校の具体的な内容で交流ができたことで、自分の学校ではどうなんだろうかと考えることができました。
  - ・今後の「保護者負担軽減」のとりくみについては、各校が実際に軽減に向けた具体的なとりくみを策定し、実践することと、同時に、保護者負担軽減に向けた公費予算の執行の在り方をグループ内で共有することも必要と感じました。

## ●次年度に向けて

- ・次年度は協議項目を絞って、より深めていきたい。数字だけでなく、各校の実態や取り組み、改善方法等を検討、議論できれば、自校の実態に応じた手立てを考えるきっかけになるのではないかと。
- ・次年度1回目の研修会で今年度の成果や課題から自校で取り組むことができた項目があれば交流する。

## ●全道事務研レポート内容及び作成について

- ・全道レポート作成の年にはどうしてもレポート作成のための研修会になってしまいがちですが、今回はそれが感じられず、レポートと同時進行で研修会も確実にレベルアップしていききましたね。
- ・全道レポートに収まりきらなかった部分もどこかで活用できたらと思います。
- ・いまさらで申し訳ないけど「組織づくり」と「人づくり」に視点をあてたのはすばらしいと思います。たいへん難しいテーマですが、また勉強させてください。
- ・うまく5ページ内にまとまっていると思います。1.2 2現在の物は、さらに読みやすくなっていました。
- ・グループの一員として、最後の「削る」作業くらいにしか携われなかったことを大変心苦しく思います。木村さんのレポートと言っても過言ではないほど、お任せしてしまいました。
- ・**経験年数関係なくわかりやすいレポートになったのではないのでしょうか。**2月の事務研での発表は、レポートにのりきらなかった木村さんの思いが見えるのかなと思います。とても楽しみにしています。
- ・**内容が充実したレポートになっている**と思いました。ただ、内容が豊富になりすぎると、どこに一番の観点があるのかが濁ってしまうことがあります。当日の発表で、そのあたりは説明できるとは思いますが、要項のみを購入される全道の仲間もいますので…。いずれにしても、レポート作成に関わった会員の皆様方、本当にお疲れ様でした。(まだ、市教研。そして本番とあります…)
- ・若手でもわかりやすい内容だと思いますし、他グループや他市町村の事務職員にとっても興味深い内容になっているのではないかと思います。
- ・レポートの中には私にとって分からない言葉などがでてきましたが、その言葉の意味を調べることが1つ勉強になりました。また、若手事務職員にとってこのレポートを読むと研修や会議での在り方、考え方、捉え方などを考えるきっかけにもなると思います。
- ・最後にきちんとまとめられていて、驚きました。すばらしいものが出来たと思います。お疲れ様でした。
- ・木村さんの思いや今年のグループ研修の取組がきちんと書かれていてよかったと思います。大変お疲れ様でした。あとは発表の仕方でしょうか。
- ・レポートの作成お疲れ様です。
- ・「組織づくり」と「人づくり」という観点において、とてもすっきりとまとまったレポートであるとそう考えます。事前に、検討内容となるレポートを読ませていただいてから、研修を受けることができましたので、大変助かりました。レポート作成、本当にお疲れ様です。
- ・旭川市の研修の実態と第2グループの取組を色々な工夫や観点で進めてきたことが明らかにでき、個々の事務職員の変貌が「人づくり」「人づくり」に繋がっていくという観点の研修により**会員全体の活動により「世代交代期」をも乗り越えていけることを訴える内容で良かった**ともいます。
- ・グループ長はじめレポート検討委の皆さんご苦勞様でした。
- ・レポートの作成に当たりました。レポート検討委員の皆様、お疲れ様です。内容はうまくまとまっているように思えます。改めて、1年間お疲れ様です！
- ・**事務職員の研修は、退職するまで続きます。**大きな世代交代期を迎え、「組織づくり」と「人づくり」の観点から、マズロー5段階欲求説、OJT・OFF-JT、アイスブレイク、PDCAサイクルの継続、PFシートの活用を踏まえた、素晴らしいレポートができたと思います。木村さん、お疲れ様でした。
- ・レポート作成委員会の皆様、お疲れ様です、とともに有り難うございます。「**仮説の設定（提起）、具体的な実践、その実践の検証（成果と課題）、そして検証を基に次のステップへ**」と素晴らしいレポートだと思います。

## ●次年度に向けて

- ・今後は学校事務研修会での発表を踏まえて修正等を行い、レポート、別冊資料、プレゼンの準備を進めていきます。
- ・次年度研修会等でも進行状況等を適宜周知し、9月の提言に向けて計画的に準備します。
- ・次年度の研修活動でも今年度のレポート内容が少しでも反映される研修会であればと思います。

## ● 1年間を通して研修会の成果

- ・いつの間にか全員参加型の研修会となって良かったです。研修内容も自然と蓄積されていって良いと思います。
- ・毎回いろいろと考えてくれて、とても有意義な研修だったと思います。ありがとうございました。
- ・研修で一番大事なのは、参加者である自分達の意識、意欲だと分かりました。
- ・一貫したテーマを取り扱うことで、どのような姿勢で研修に臨むべきか、という部分が明確になった点が成果だと思います。普段からどのようなことを考えたら良いのかがわかると、仕事への取り組み方も変わりますし、結果として研修の質も上がったのではないのでしょうか。
- ・若手を目に掛けていただいたおかげで、少しずつですが発言や役割も増えてきたように感じます。全体で参加しやすい雰囲気を作っていただき、とてもありがたかったです。また新しい仲間を迎えるでしょうが、引き続き良い雰囲気のまま研修を進めていきたいです。
- ・まずは、グループ長、副グループ長のお二方に、感謝いたします。ありがとうございました。そして、お疲れ様でした。出席率をみても、第2グループ研修が充実している証ではないのでしょうか。
- ・幅広い世代で構成されているグループですので、おじさんとしても若い世代の話を聞けたこと、何を考えているのかを知ることができたことは良かったと思います。今後も、多数の参加となる、第2グループであって欲しいと思います。1年間、お疲れ様でした。
- ・毎回研修のあと振り返りシートに取り組み、次の研修会で前回の研修について少しでも振り返るといった流れが、1回1回の研修で終わらず1年間を通しての研修だったと感じられました。
- ・雰囲気がよくなったこと。話しやすい環境になったこと。研修や会議での在り方を知ったこと。PFシートを活用して他校と自校を比較・交流し自校とは違う新しい徴収方法や執行内容を見つけたことができたこと。
- ・加配業務なのであまり関係ないかと思っていた時期もありましたが、それは間違っていたかも…。
- ・研修会で得た知識や情報を学校に持ち帰り、日常業務に活用してみる。仕事の効率が上がったり、新たな課題が見つかったり…そういうことが成果なのでしょう。
- ・確実に業務は増えていますが、工夫と改善を重ねて、前年以上の仕事をこなしていこうと考えています。
- ・研修部の提起があったおかげもあり、今年1年で何年も継続してできる課題が見つかり、引き継いで行けそうな土台ができました。
- ・多くの方と交流ができ勉強になりました。
- ・私のにとってこの1年の研修会の全てに参加することは出来ませんでしたが、楽しく有意義なものでした。そして心残りは、この研修会で得たことを次年度の事務活動に生かすことが出来ません。
- ・その分皆さんのご活躍と取組に期待します。
- ・自分は後半の回しか出席できませんでしたが、常に研修会の様子がわかるレポートを送付して下さったので、研修会でやったことがわかり、たいへんありがたく思えました。また、出席した研修会の振り返りをレポートとして、提出をすることは、研修会の内容を思い出し、また、記憶にとどめておくことができるので、良い取り組みだと思いました。
- ・成果は、全道研のレポートに集約されていると思います。
- ・研修を通じて、皆さんと意見交流をする中で、数多くのことを学ばせていただきました。それが個人的な最大の成果です。また、第7回研修でグループ長がおっしゃっていた『意見を発表しなくても、研修という場に参加して、その空気に触れて行くことが大切だ』というような趣旨の言葉に、深く感銘を受けました。まさに「組織づくり」「人づくり」そのものと、そう思いました。
- ・参加の皆さんが集中して討議・協議に臨むようになったのではないのでしょうか。
- ・小中学校別の討議は、課題が共通するので大いに話がすすんだと感じました。

## ● 今後に向けた課題

- ・今年度のよい流れをどう次年度に繋げていくかが課題だと思います。
- ・来年もまたいい研修会となるようみんなでつくっていきましょう。
- ・研修への参加は人それぞれ、という話もありましたが、行き詰まったときに「口火を切る」ひとは必要です。その役割を担うひとが固定化されてしまうと、異動や休暇などでそのひとがいなくなると、スムーズな討議が出来ないのでは、と少し不安に思っています。やはり良質な研修には、活発な議論が必要不可欠で、そのためには個々人の意識が重要ではないのでしょうか。
- ・まずは、レポート…、今年度のグループ研が終わったとしても、やはり、来年の大会までグループとしてサポートを続けるべきだと思います。次年度に引き継ぐことにもなるのかと…。
- ・業務多忙な方もいらっしゃると思いますが、研修の場は大切です。この高い出席率を、100に近づけられるよう、グループ内で声かけやサポートなどの「つながり」を、これからも大切にしていっていただきたいです。
- ・色々な方法の研修をした中で、それを活かして内容を深められるようにすることが今後につながると思います。
- ・保護者負担軽減を、どこをどのように行えば自校にとって最適な徴収金額・執行内容になるのかを見直すこと。
- ・誰でも遠慮せずに意見を言い合える雰囲気づくり

- ・人の入れ替わりがある中で**今年の成果を何年か後にも引き継いでいける継続性**。
- ・**研修を続けていくこと**でしょうか。どのような形でとか。
- ・**今年の研修方法を次年度につなげていくか**。そして。グループテーマの検証を進めていきながら、また新たなテーマをどう設定して**事務職員としてのスキルアップを進めていくか**。と思います。
- ・最後の1年を楽しく過ごすことが出来ました。本当にありがとうございました。
- ・今年度は、クオリティの高い研修会でしたので、**次年度はそのクオリティをどう維持、または向上していくのかが課題**だと思います。代表・副代表だけに任せるのではなく**幅広い人数で運営していくことが重要**だと思います。(みんなの研修会なので、みんなで作り上げていく研修会になればいいなと思います。)
- ・**研修を通じて、もっと事務職員がお互いに評価や批判する関係が必要ではないでしょうか**。管理職の評価が正しいのか。教員の評価が正しいのか。市費職員の評価が正しいのか。私は、これらの評価には疑問がある。学校事務確立のためには、高次的な事務職員が相互に評価や批判することが求められると思いますし、一番妥当な評価を得ることができるのではないかと思います。ひいては、このことが学校事務の確立につながるのではと思っています。
- ・一つの提案議題に対して、**もう少し時間をとり、深く掘り下げることができたら**と思いますが、限られた研修時間の中では、現在の研修がベストではないかと、そう考えます。
- ・**グループ役員さんのみに大きな負担をかけないグループ研修会**。

### ●次年度に向けて

- ・成果、課題ともに雰囲気づくりと研修活動の継続が多くあり、次年度もグループテーマを進める上で様々工夫や意識の共有を通じて研修活動の活性化に努めていく必要がある。
- ・役員の負担にならないように役員構成を工夫したり、役割分担をして会員全員で研修会運営を行っていくことが大切。

## 参考資料・参考文献

- ・伊丹敬之・加護野忠男（2003）「ゼミナール経営学入門 第3版」（日本経済新聞出版社）
- ・小笠原喜康（2009）「新版 大学生のためのレポート・論文術」
- ・日本能率協会マネジメントセンター（2013）「仕事が早くなる！CからはじめるPDCA」（日本能率協会マネジメントセンター）
- ・柳澤靖明（2016）「本当の学校事務の話をしよう ひろがる職分とこれからの公教育」（太郎次郎社エディタス）
- ・末富芳編著（2016）「予算・財務で学校マネジメントが変わる」（学事出版）
- ・清原正義編著（2003）「21世紀学校事務事典2」（学事出版）
- ・松尾睦（2015）「部下を成長させる指導術 0JT完全マニュアル」（ダイヤモンド社）
- ・松尾睦（2011）「職場が生きる人が育つ「経験学習」入門」（ダイヤモンド社）
- ・坂下充輝（2018）「結果を出してやりがいを実感！学校事務職員の仕事術」（明治図書）
- ・藤原文雄（2012）「学校事務職員という仕事・生き方 キャリア・ステージごとの悩み、学び、成長」（学事出版）
- ・藤原文雄（2017）事務職員の職務が「従事する」から「つかさどるへ」へ 学校教育法第37条第14項「事務職員は、事務をつかさどる」（学事出版）
- ・福島正行（2018）「学校組織からみた意義と課題」（『学校事務』（69）3号、学事出版）
- ・中教審（2015）「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」（答申中教審第185号）
- ・文部科学省（2017）「学校における働き方改革に関する緊急提言」
- ・旭川市公立小中学校事務職員協議会（2018）「2018年度 総会議案書」
- ・北海道公立小中学校事務職員協議会（2018）「2018（平成30）年度 総会議案書」
- ・長谷川邦義（2010）「特集 急激な世代交代にどう対応するか 魅力ある職としての輝きをいかに放つか」（『学校事務』（61）9号、学事出版）
- ・吉田勝光（2010）「特集 急激な世代交代にどう対応するか 引き継がれるべき3つの視点」（『学校事務』（61）9号、学事出版）
- ・岡田健（2010）「特集 急激な世代交代にどう対応するか 0JT機能のシステム化でつなぐ先輩から若手へ」（『学校事務』（61）9号、学事出版）
- ・文部科学省（2017）「中学校新学習指導要領総合的な学習の時間編」